

碁經精妙

卷四

79
4079
4





清朝人

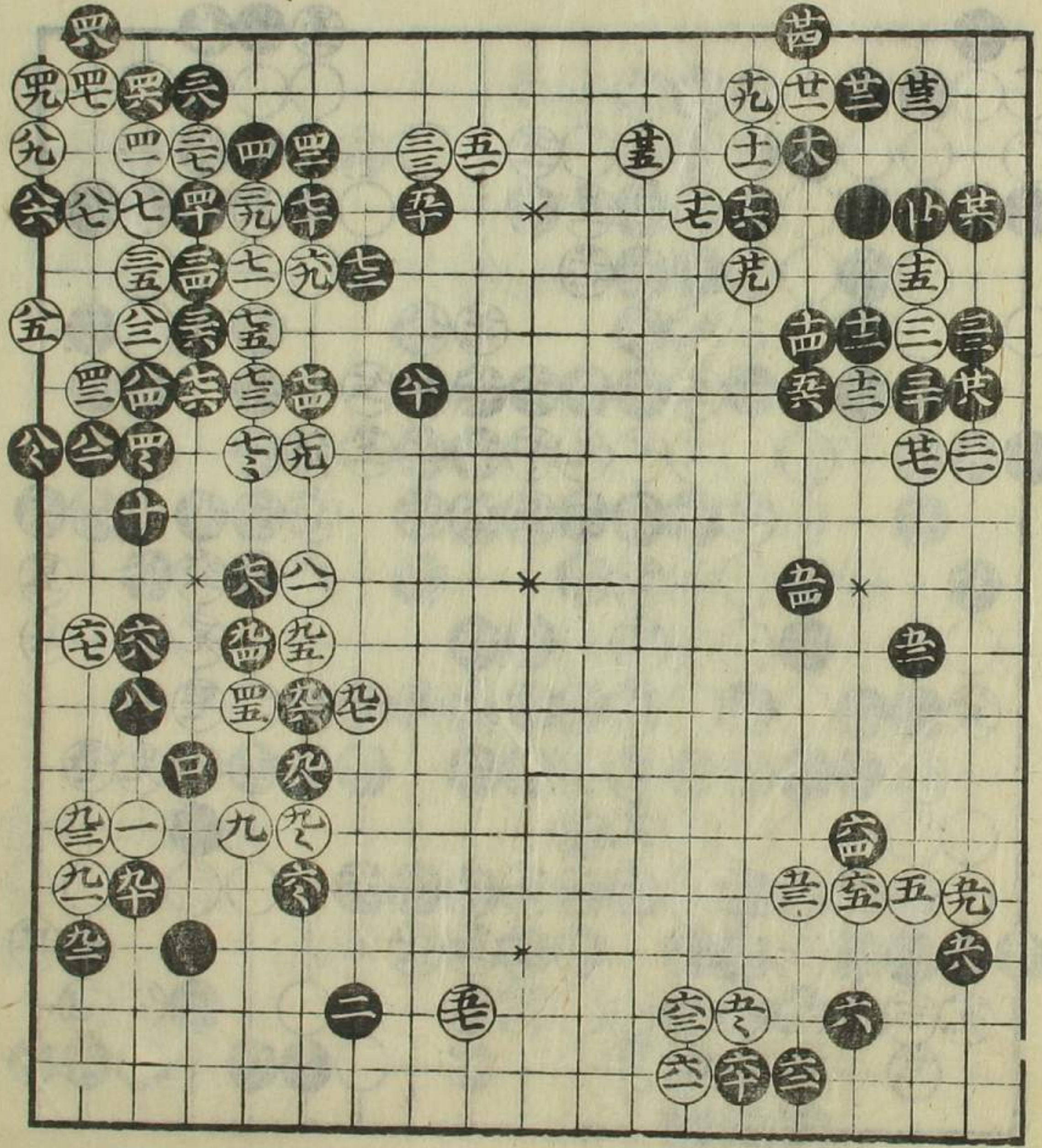
徐星友

姚文侯
勝子

一手。半子。子
半等の勝負は
れども吾邦の衆
目よあるる諸
説ありとても
皆推量の
よ未詳長崎
未始の清人よ

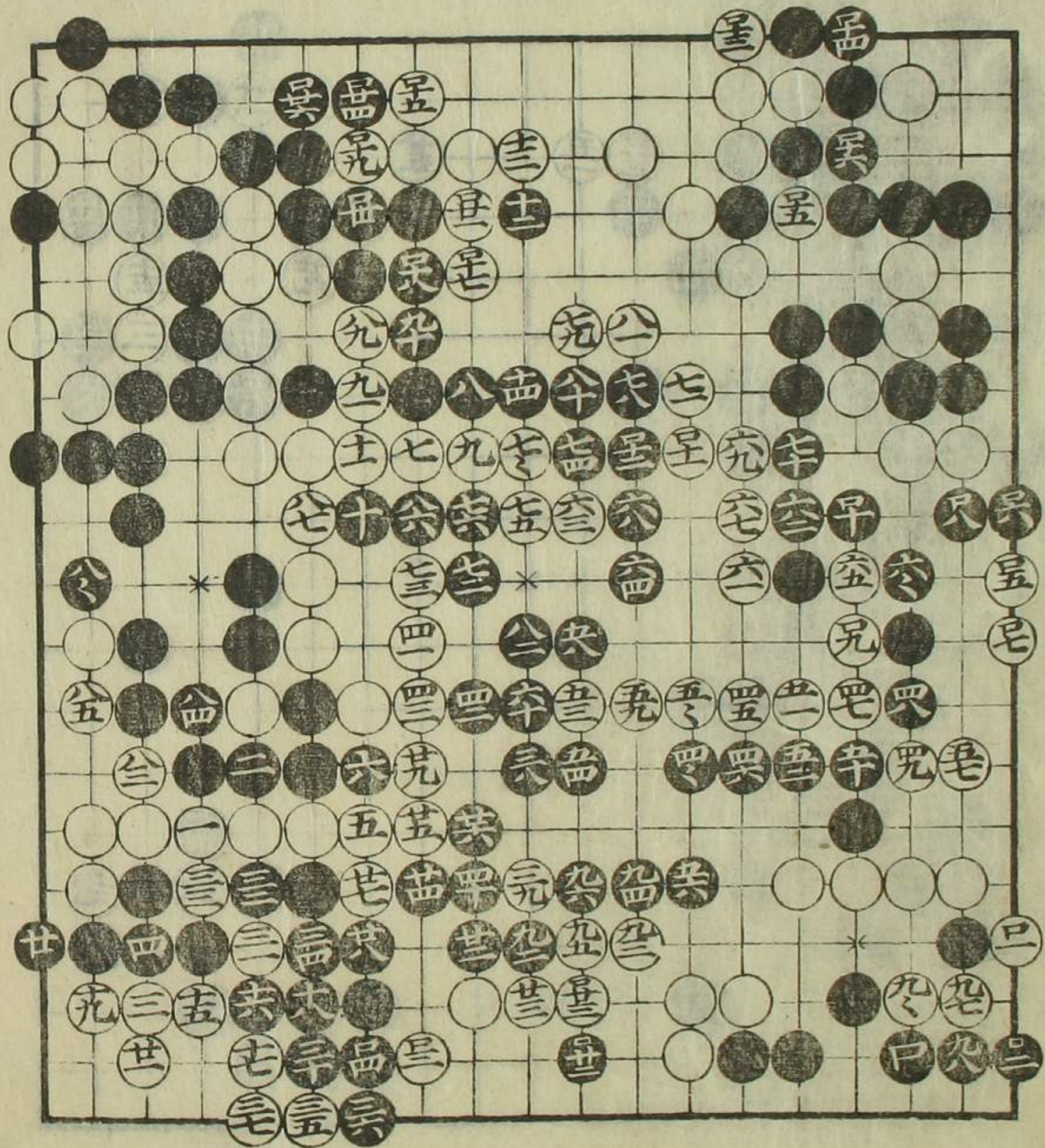


清少...



五三の子執り

百二十六手

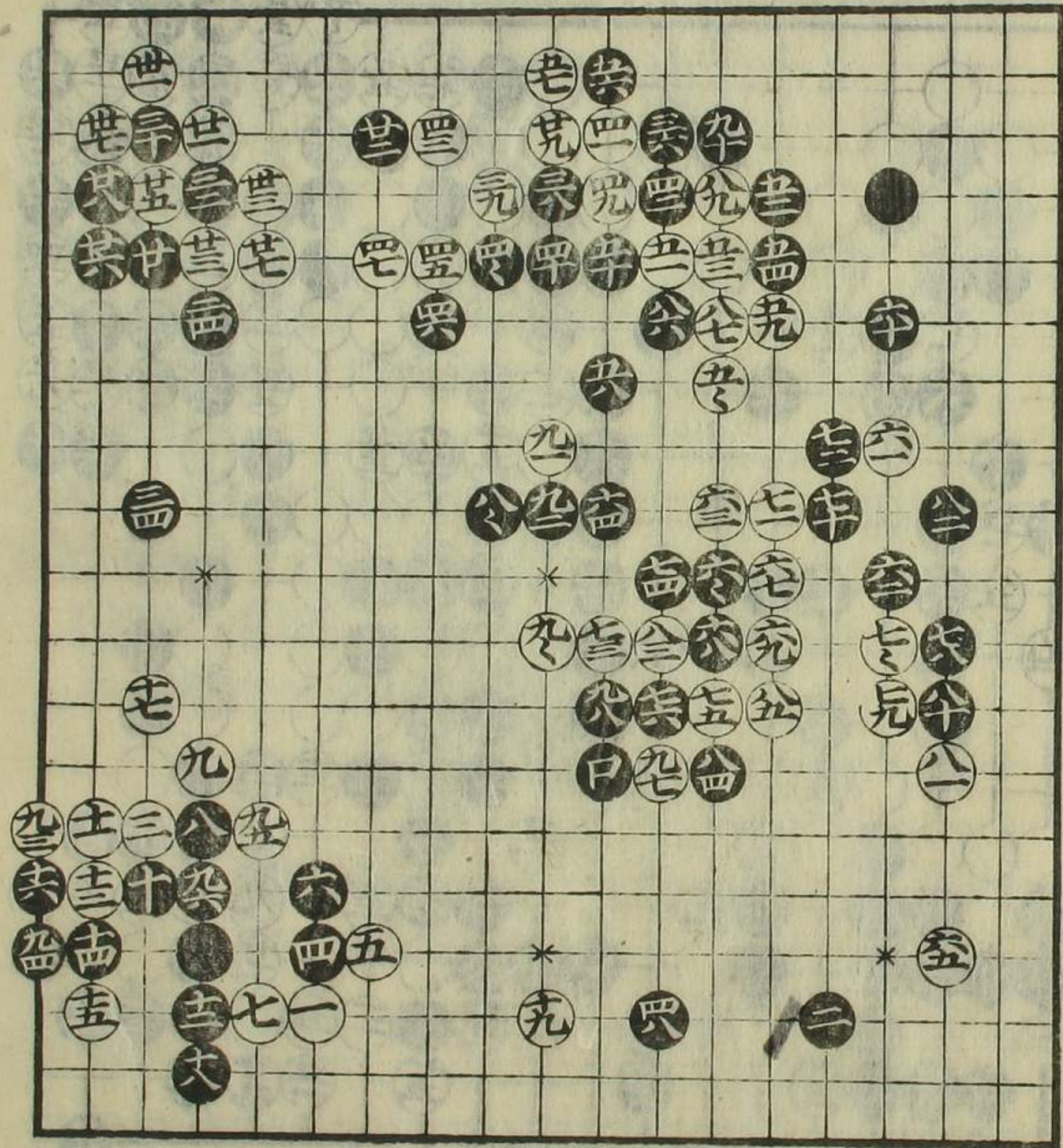


徐星友 勝子

姚文侯

二碁子置

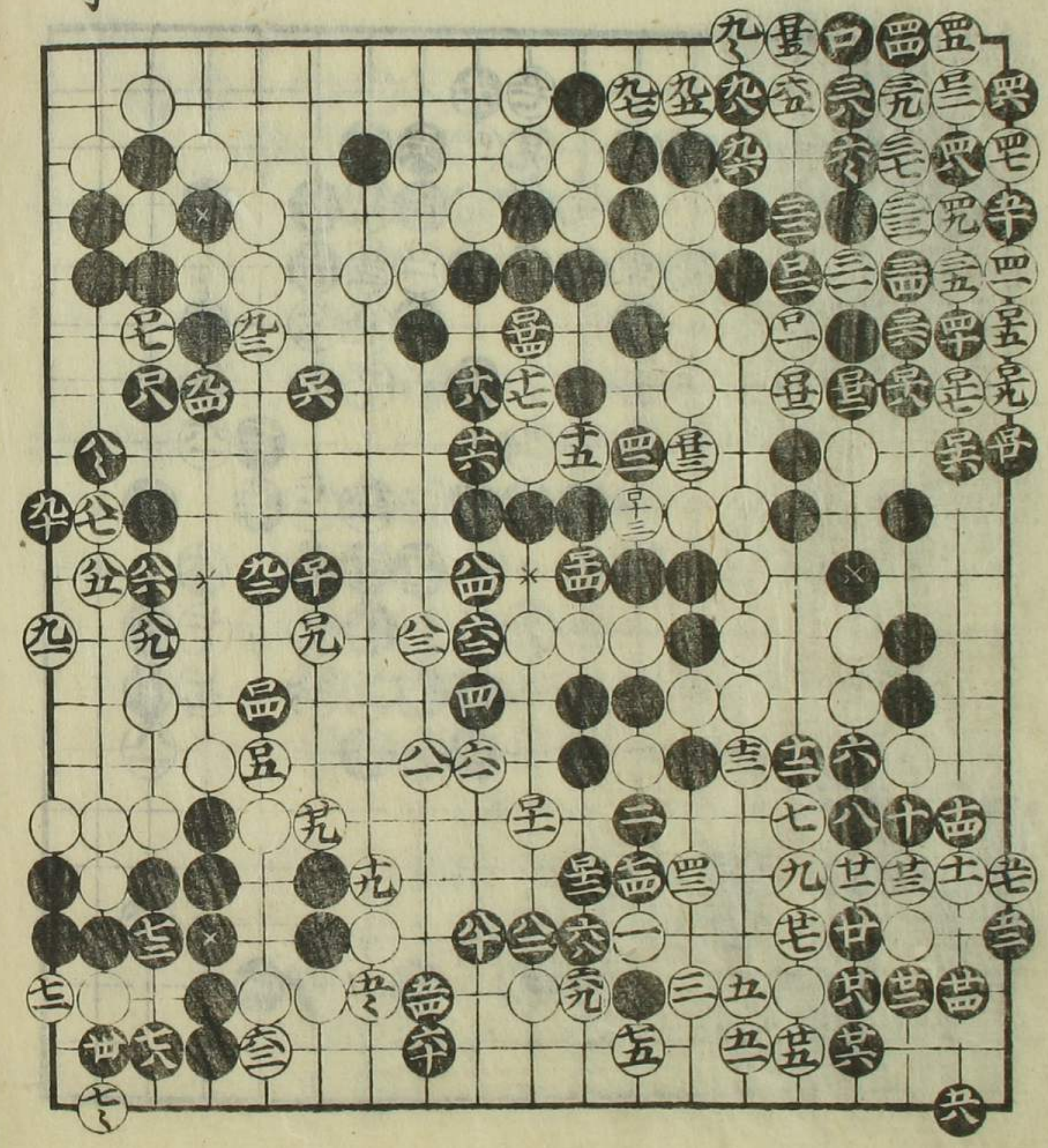
三五劫上



五三却上
五六、
五九、
六四、
六七、
七十、
七三、
七六、
七九、

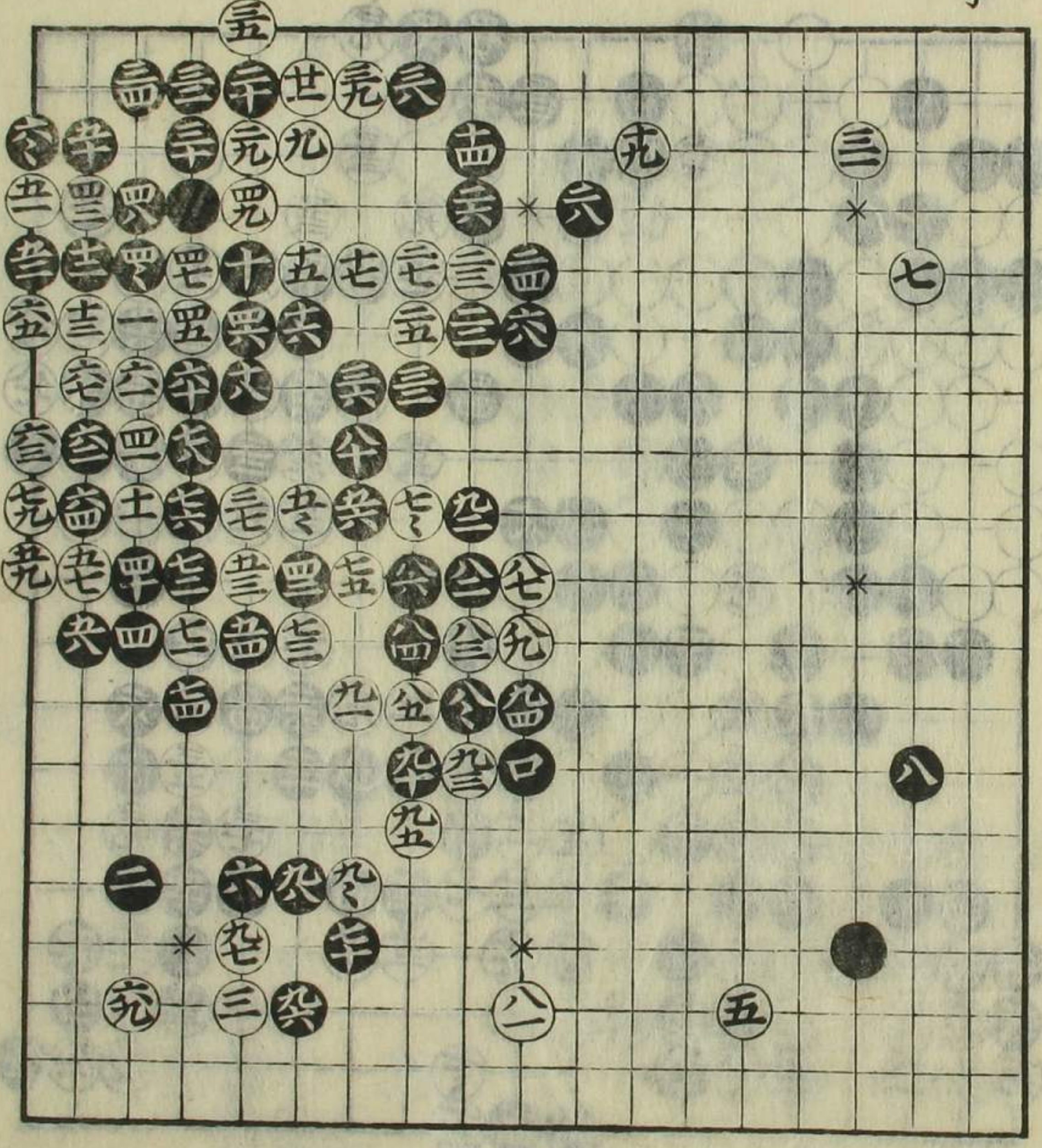
三一の妙

二百二十五手



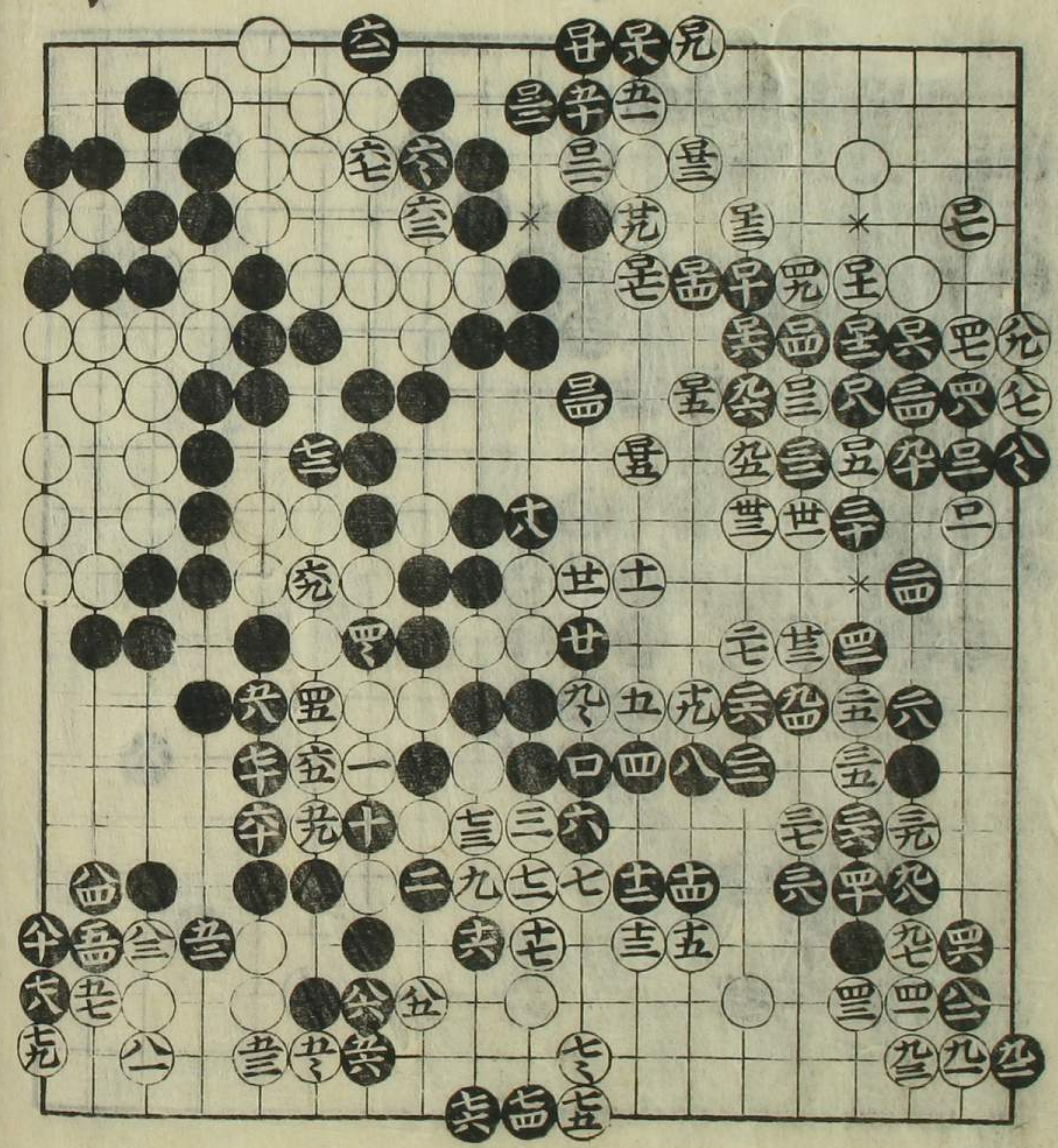
徐星友 勝手
譚揆士

譚揆士著姚文
侯よりハカキ
アセ觀る



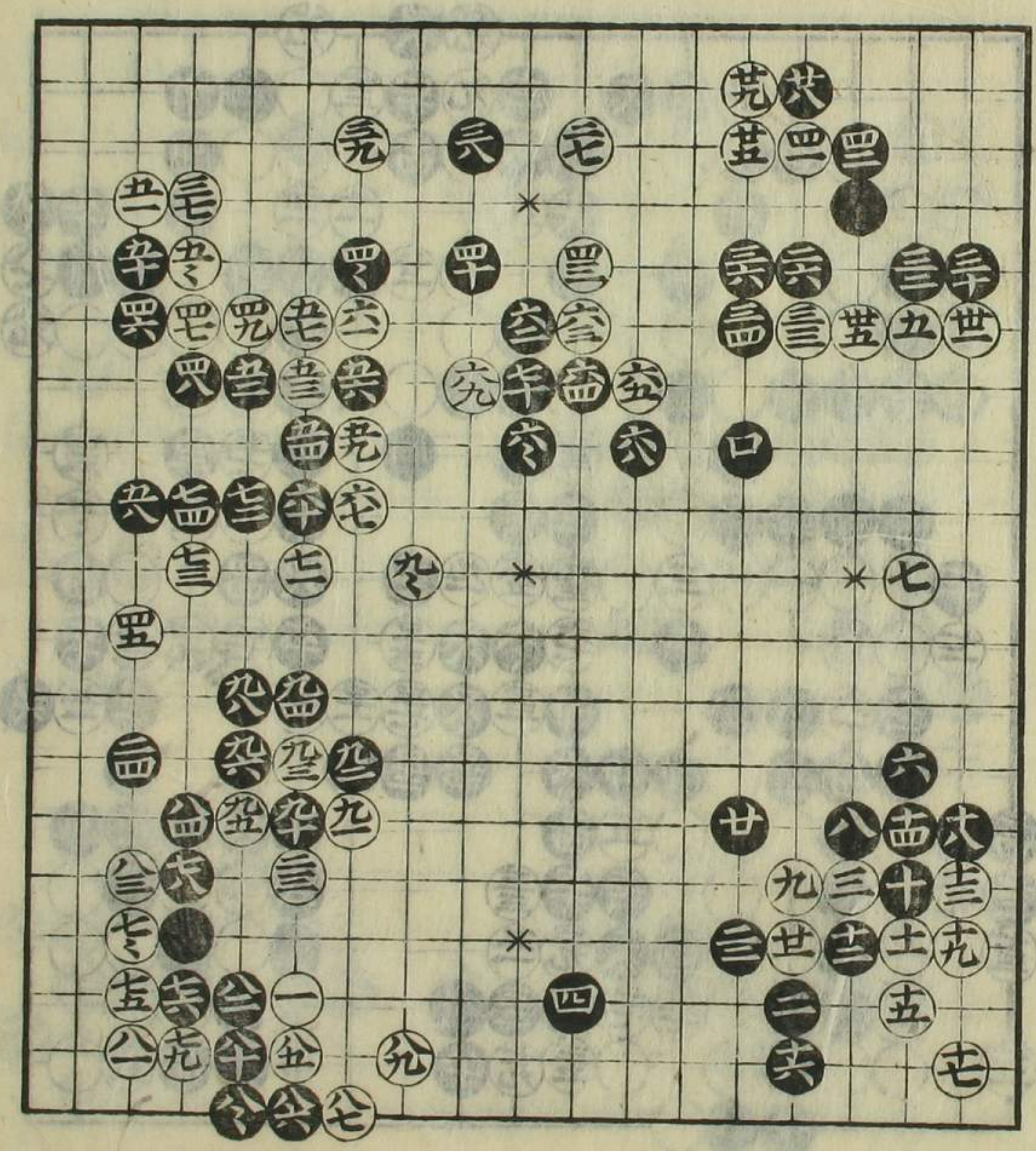
六一劫
六四
六八ツ

二百二十手



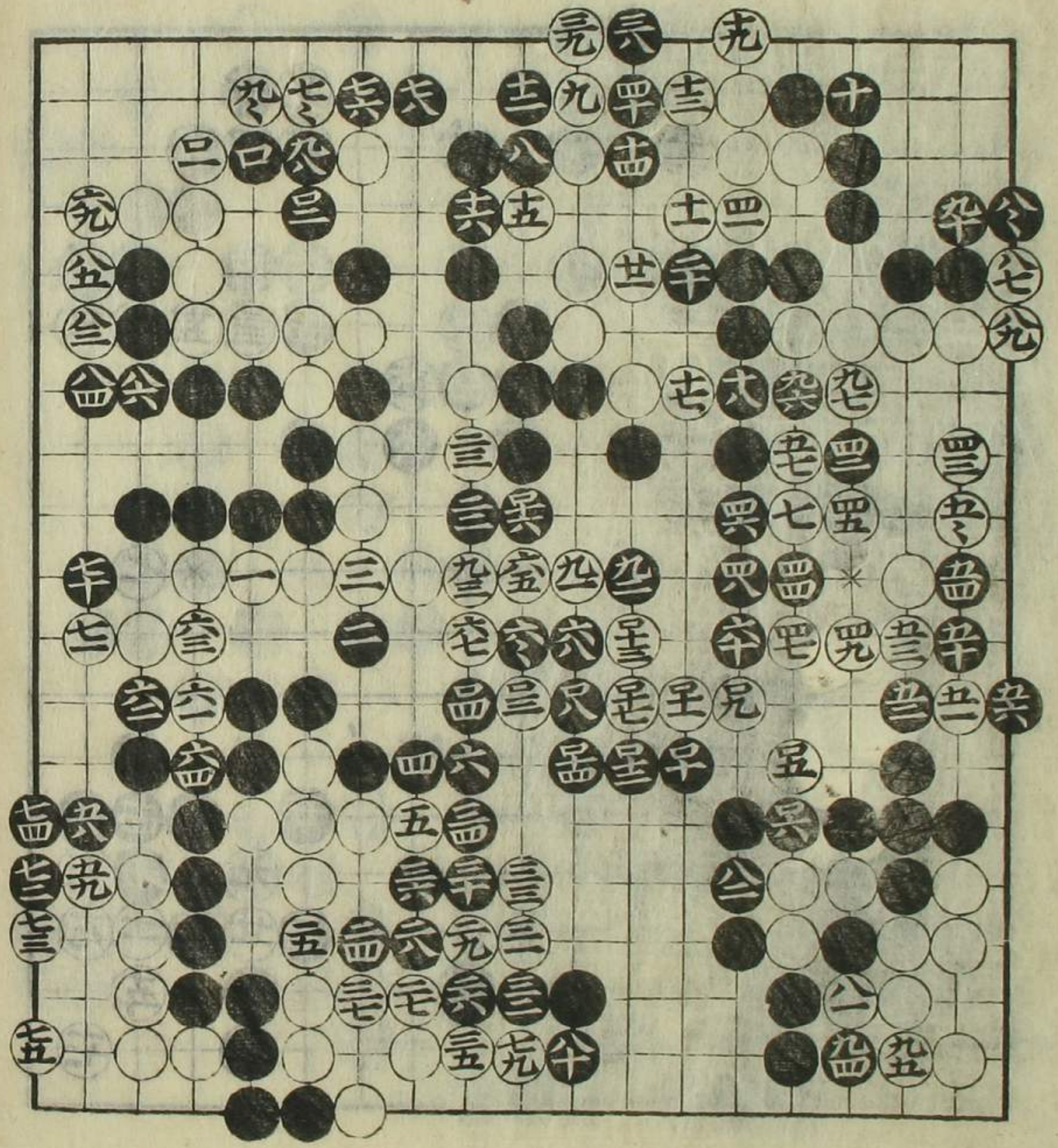
徐星友
譚揆士
基子置勝

九七劫



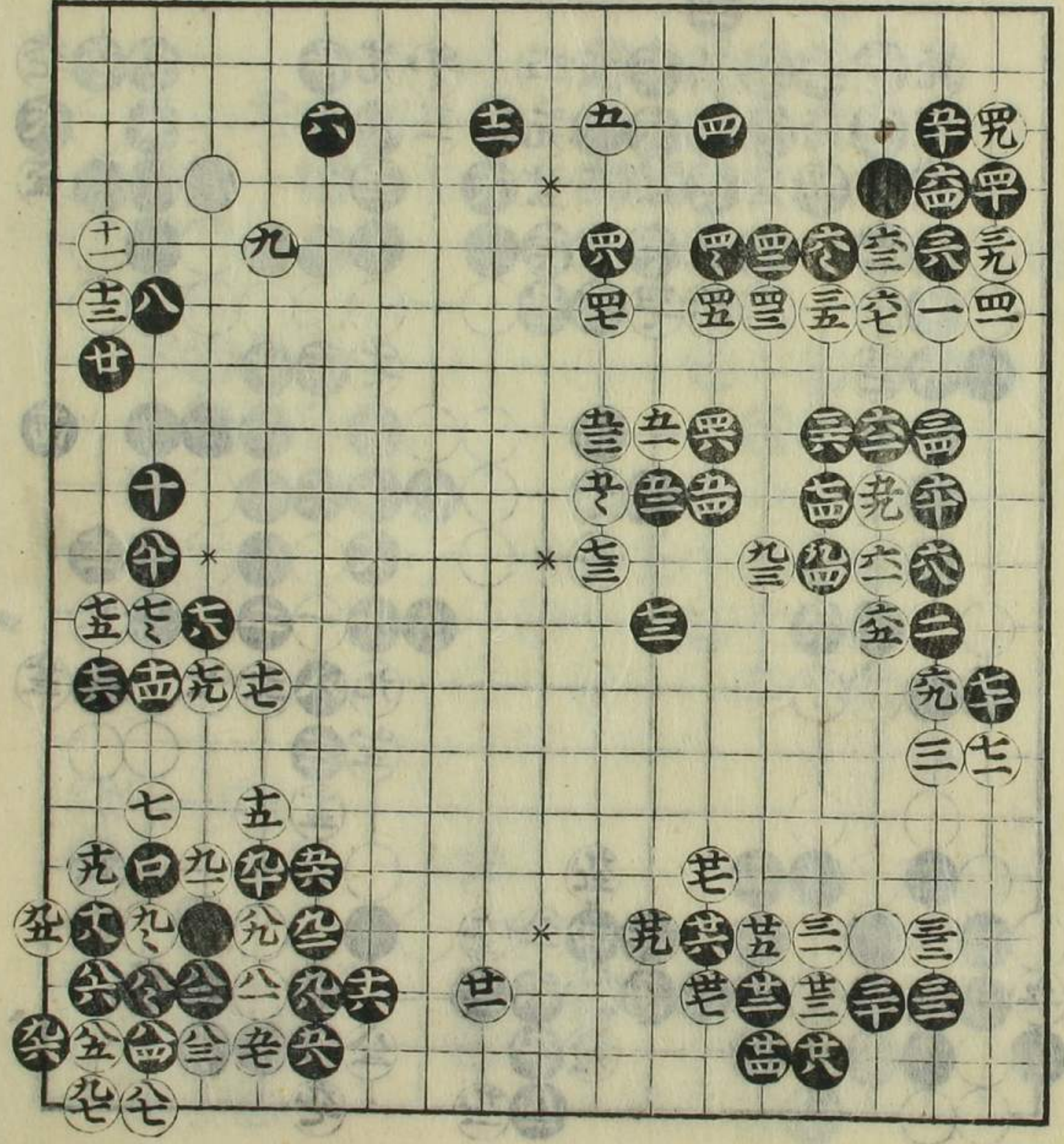
早五三目多

二百十六手



程蘭如勝
徐星友

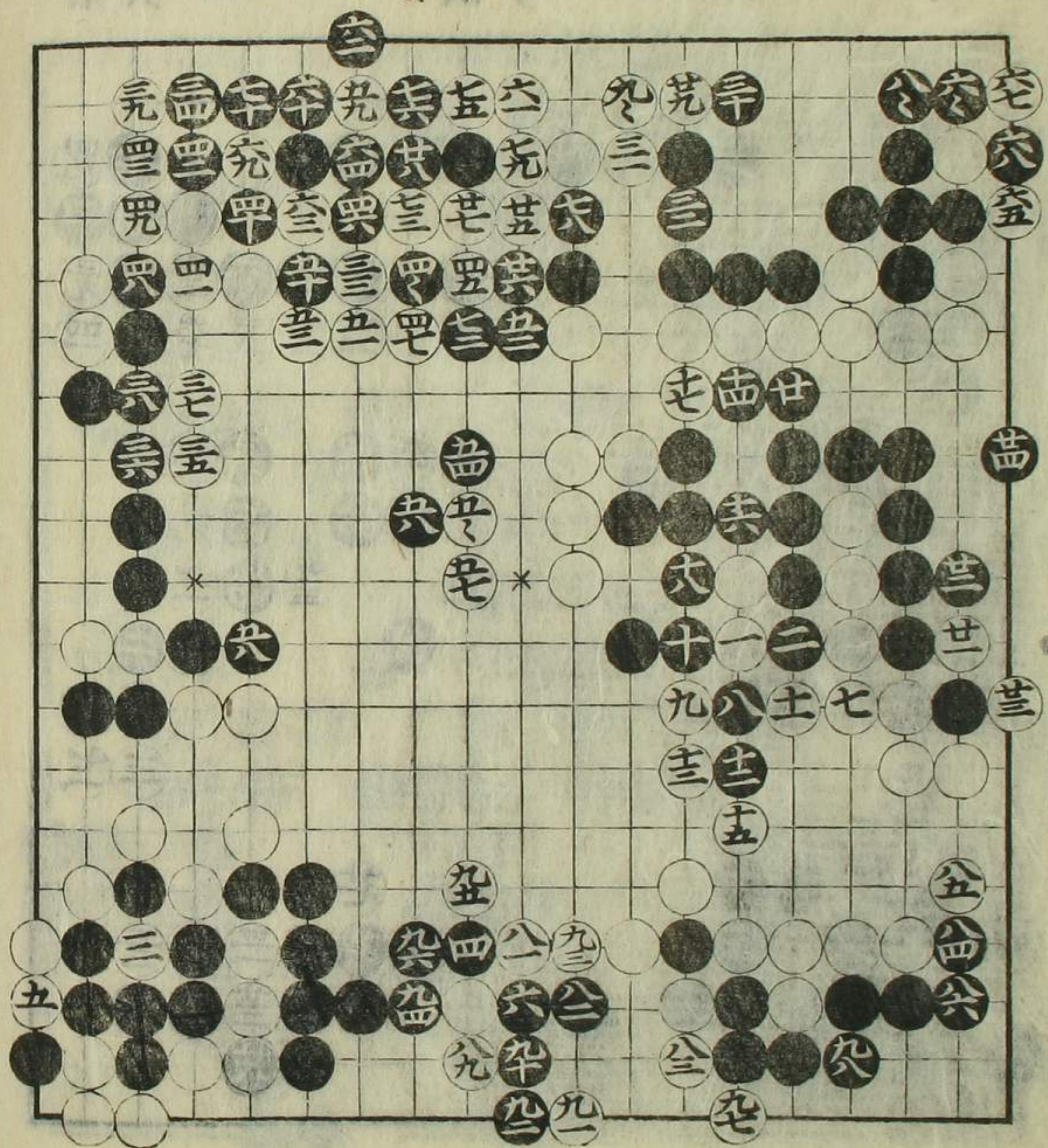
大清凡白を以
先をするをり
且姓名と前
書との先置
しをり下皆
これより下



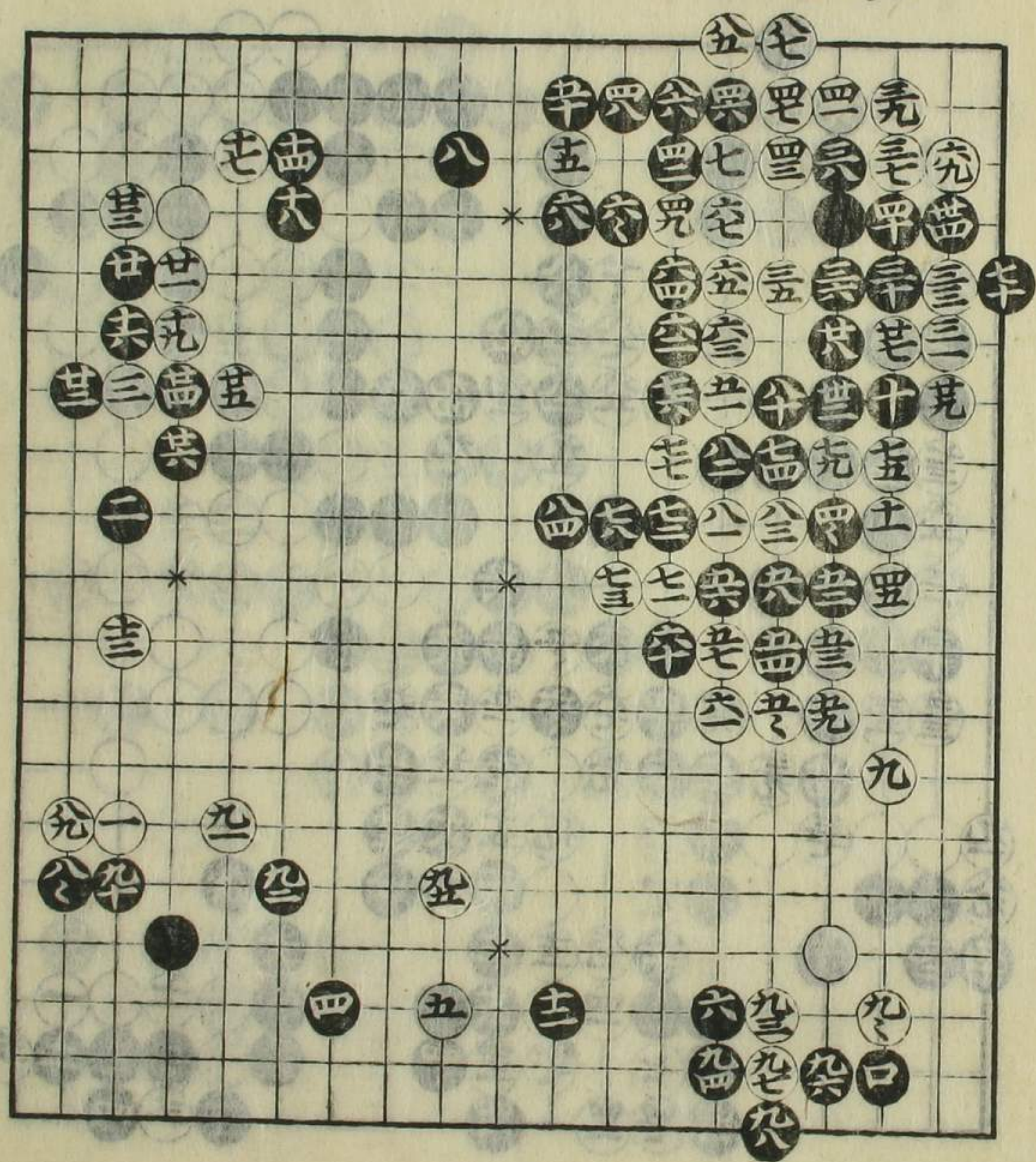
十九撲字カラ
七一劫トル
七四、
七七、
八十、
八七、

九のきす
御弓の用心
そまうなり

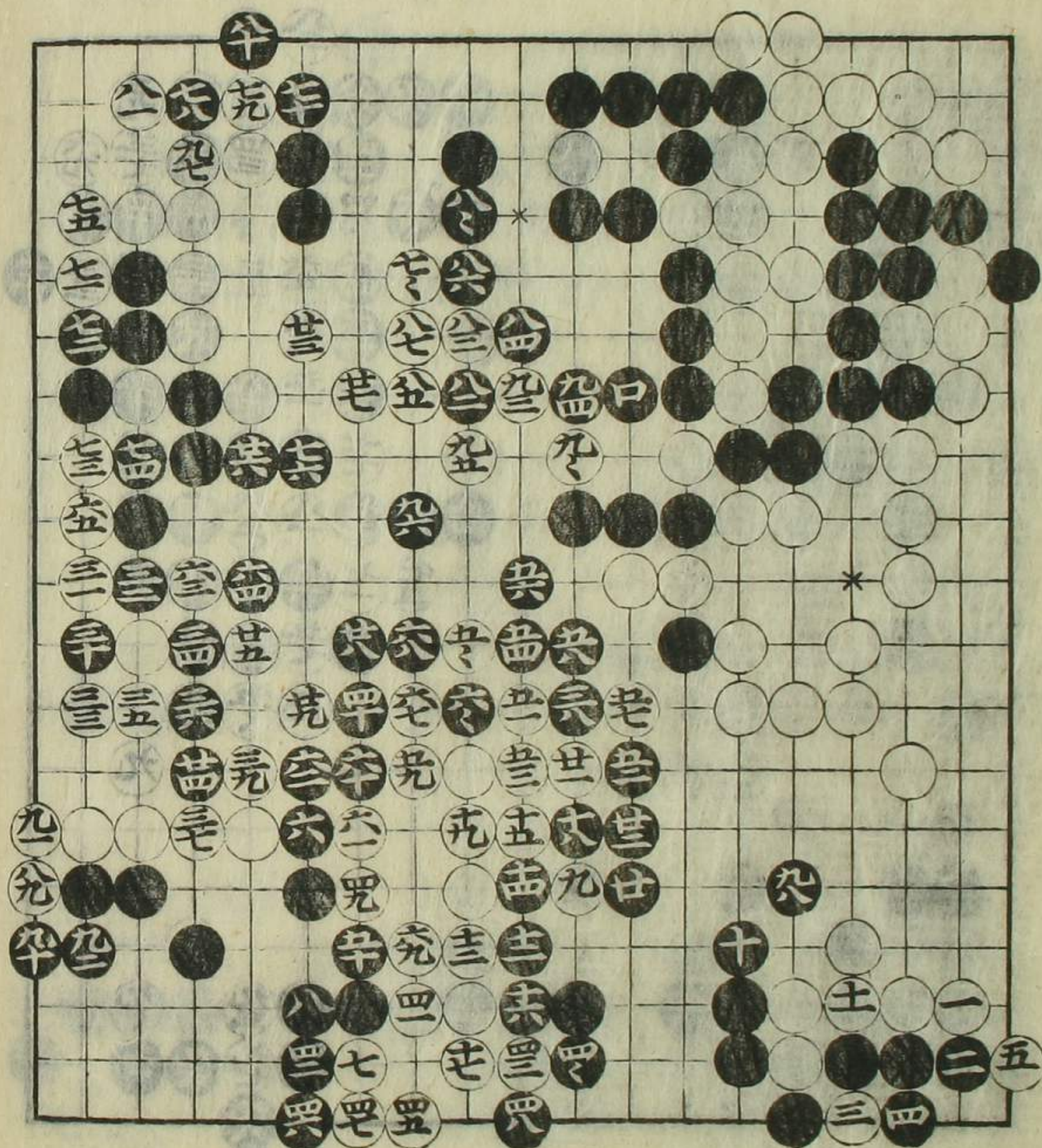
百九十九手



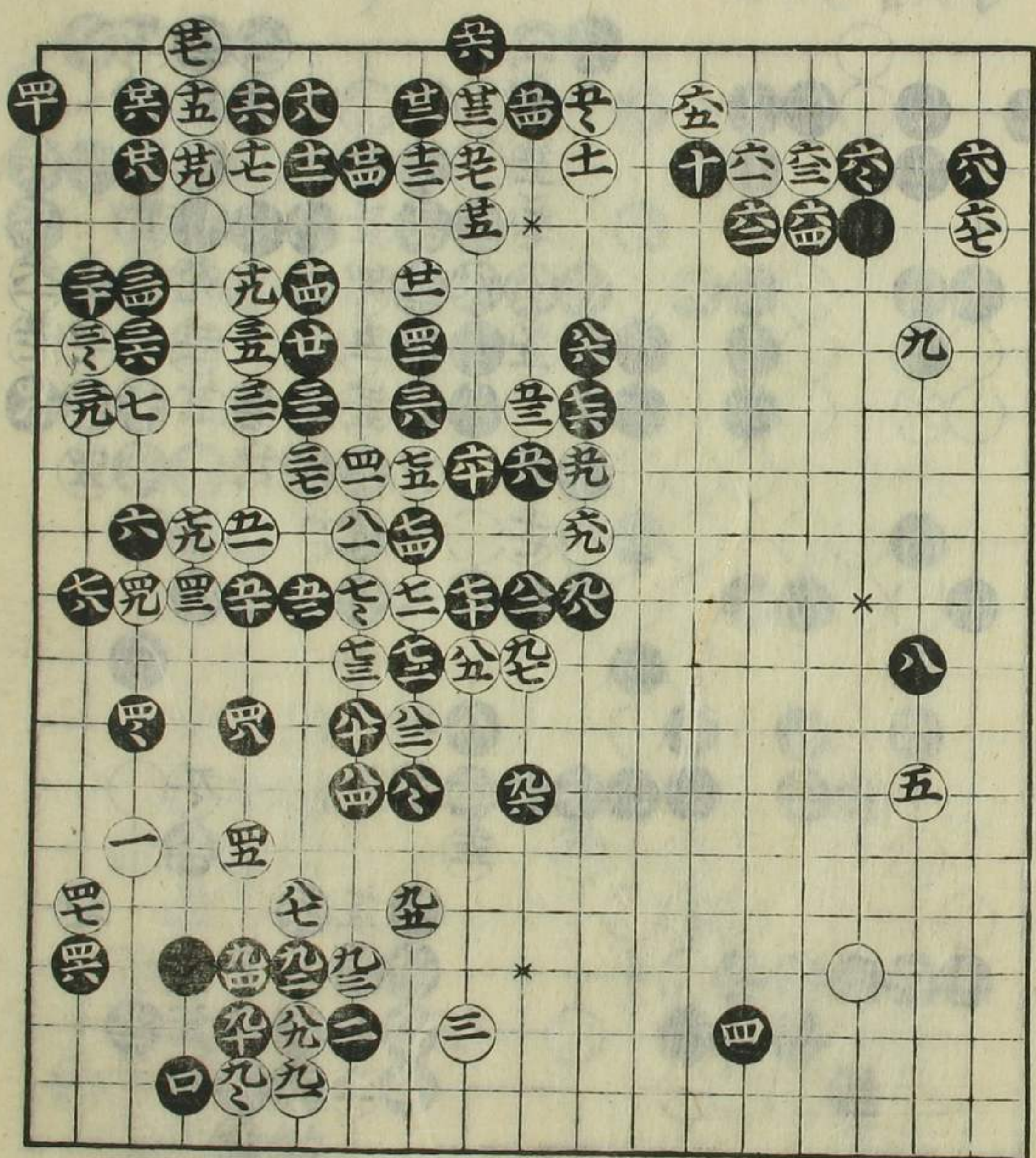
程蘭如
徐星友
勝



二百手



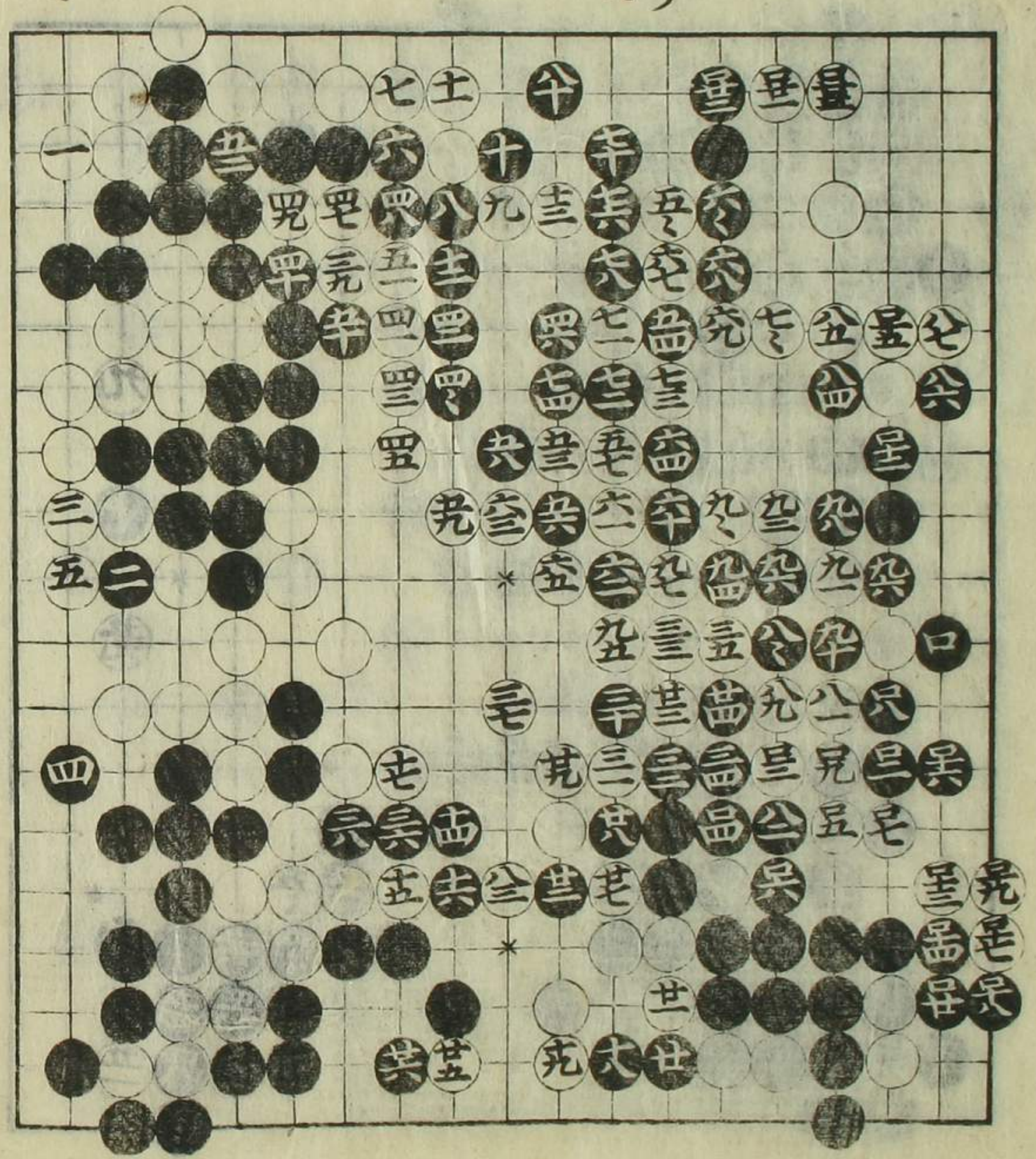
黃月天
周東侯



七五粘
七九粘
早目提
早目粘
呈目粘

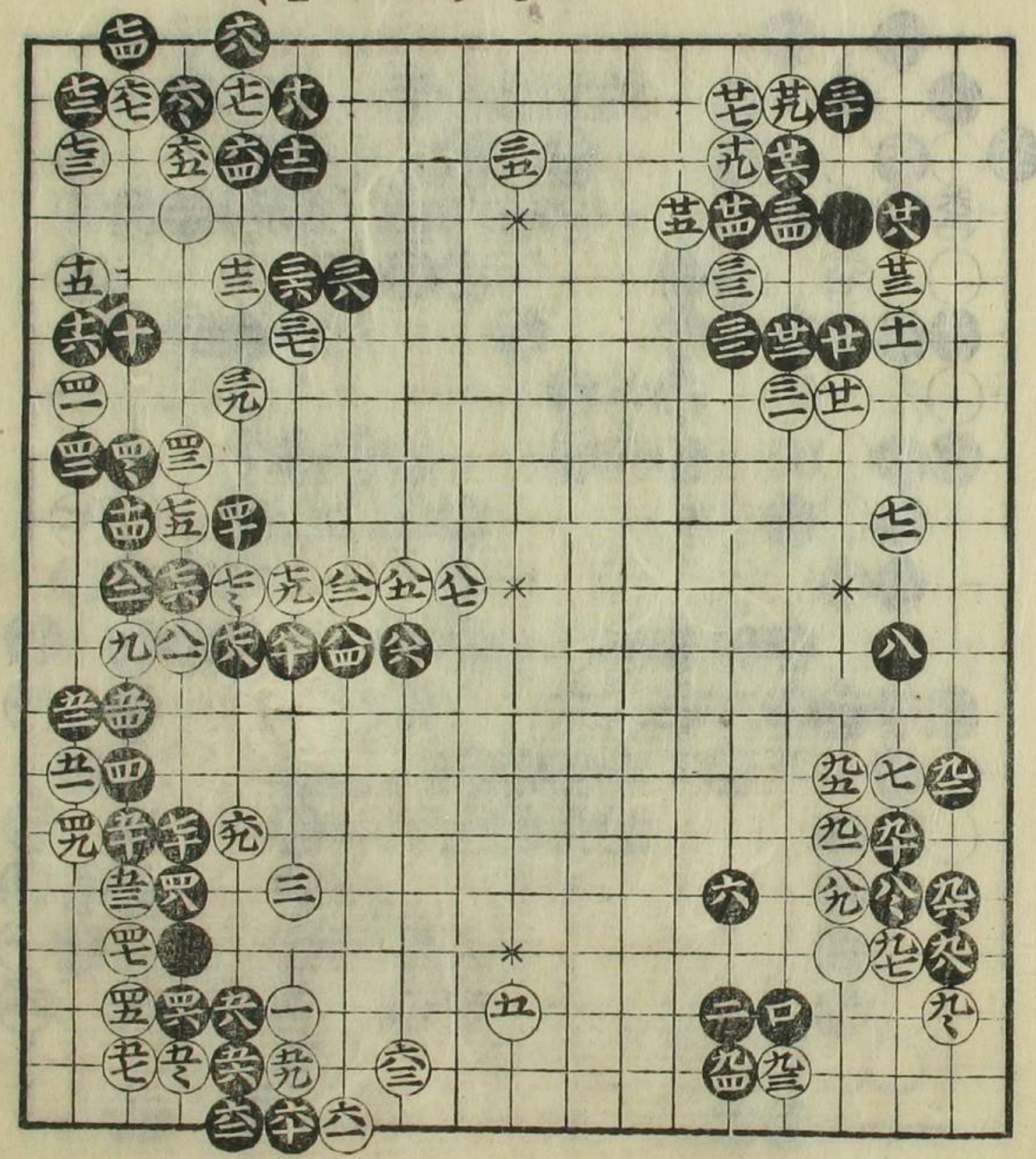
其の手妙あり
おのく手段氣
骨あり

二百二十三手

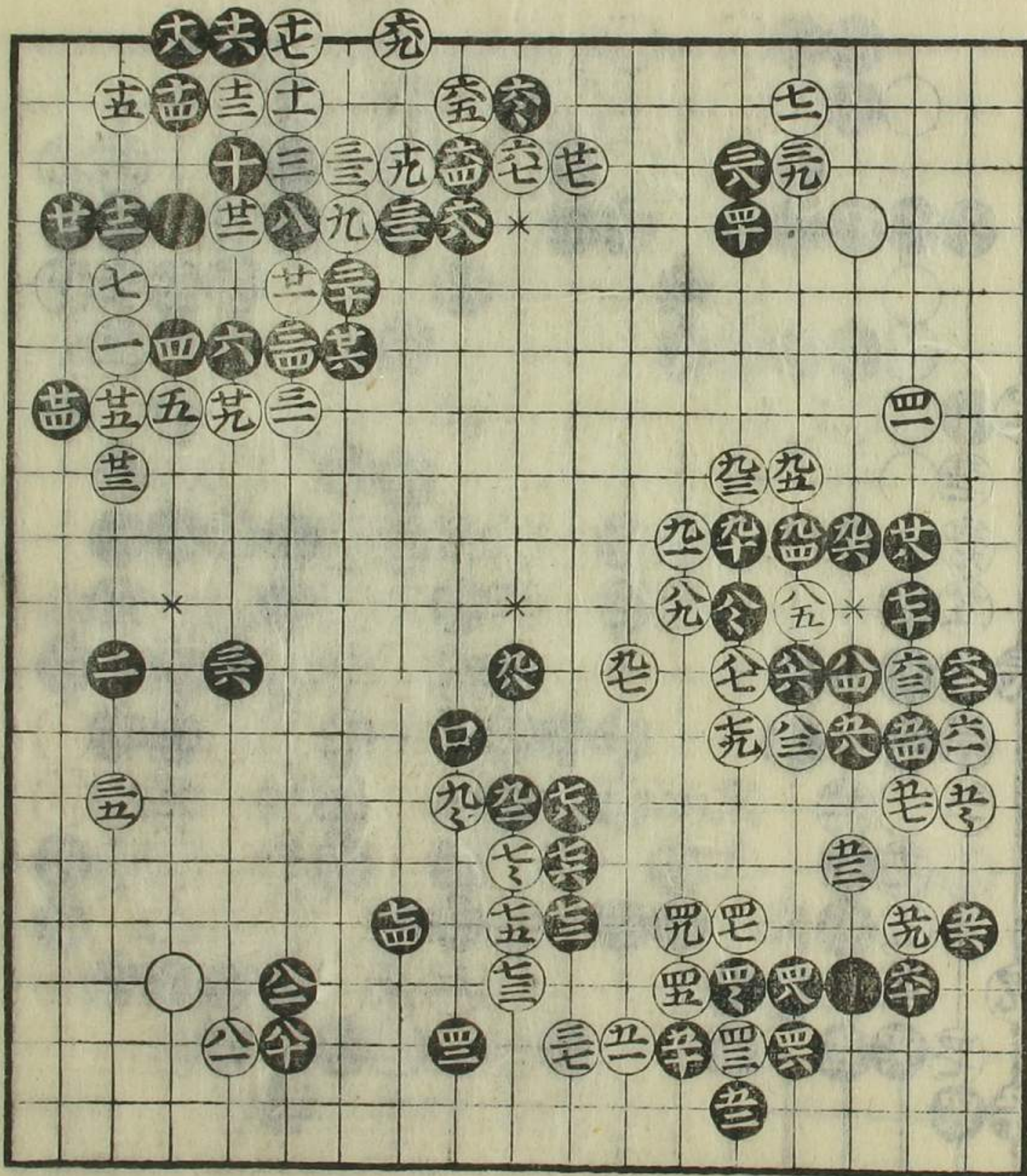


勝
黄月天
徐星友

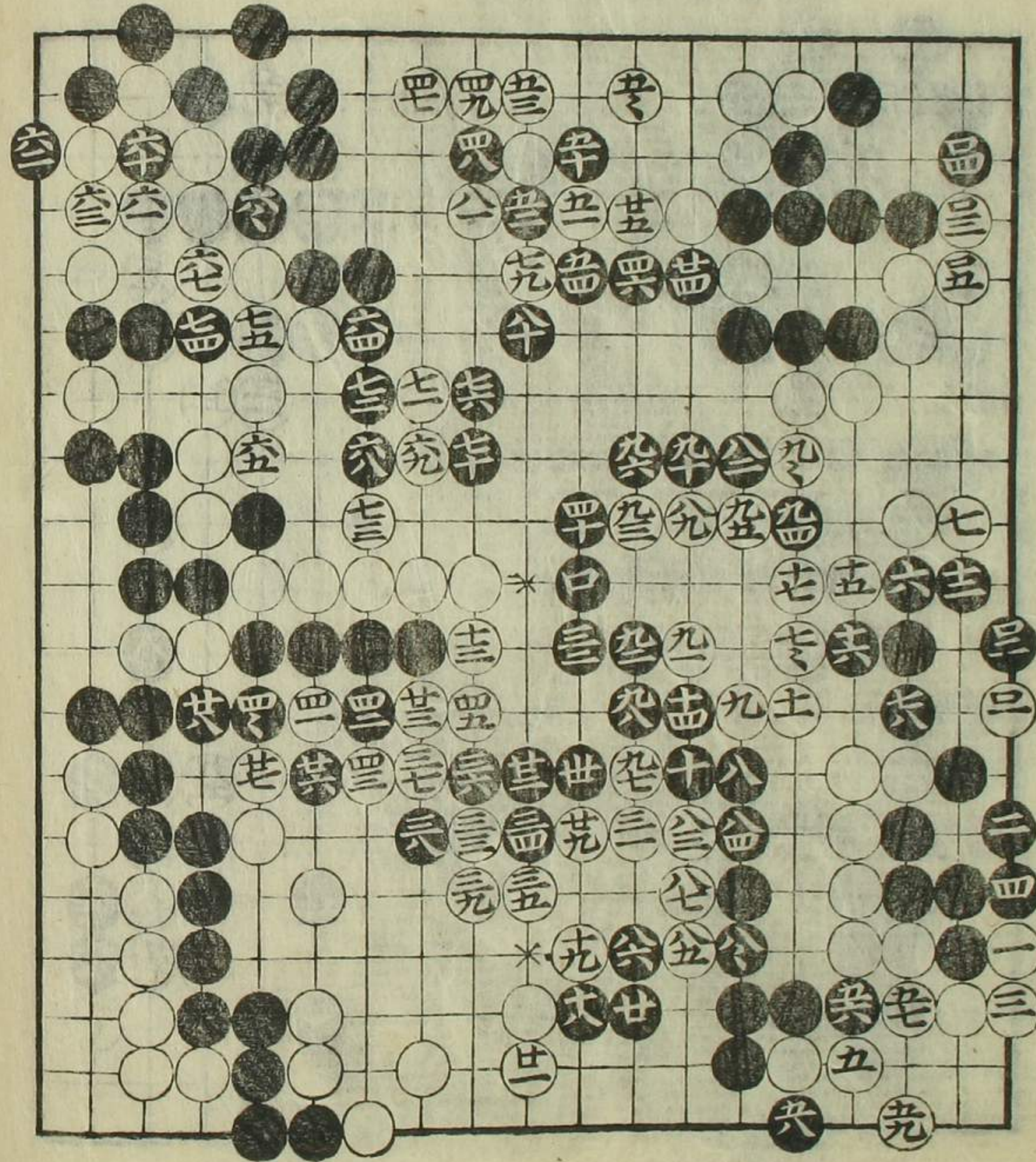
黄月天徐星
友ハ彼方より
碁聖と稱する
者又我れども
我邦の名入
比すれを日を
同じて論す
るす



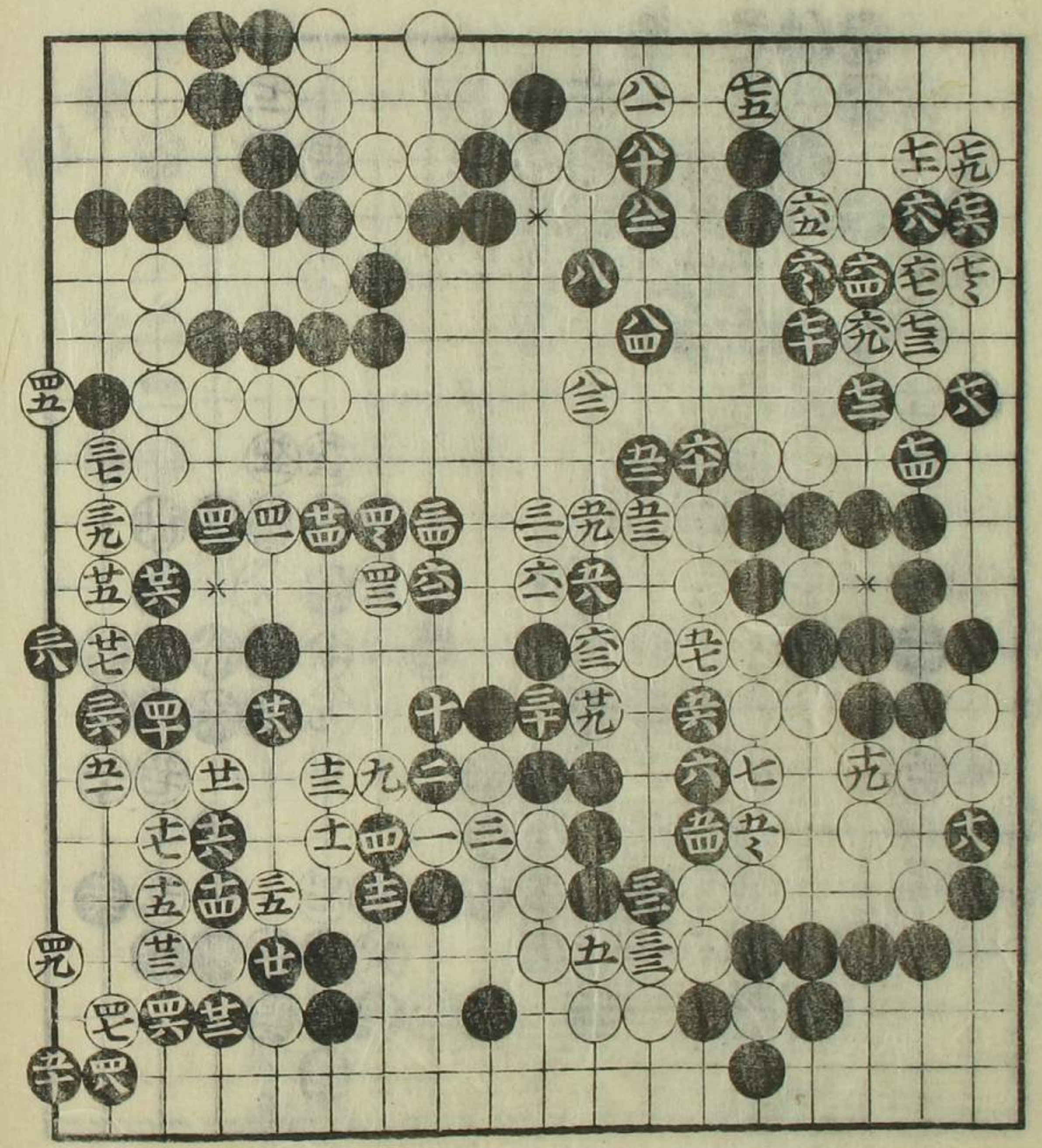
徐星友
黃月天
勝



二百五手

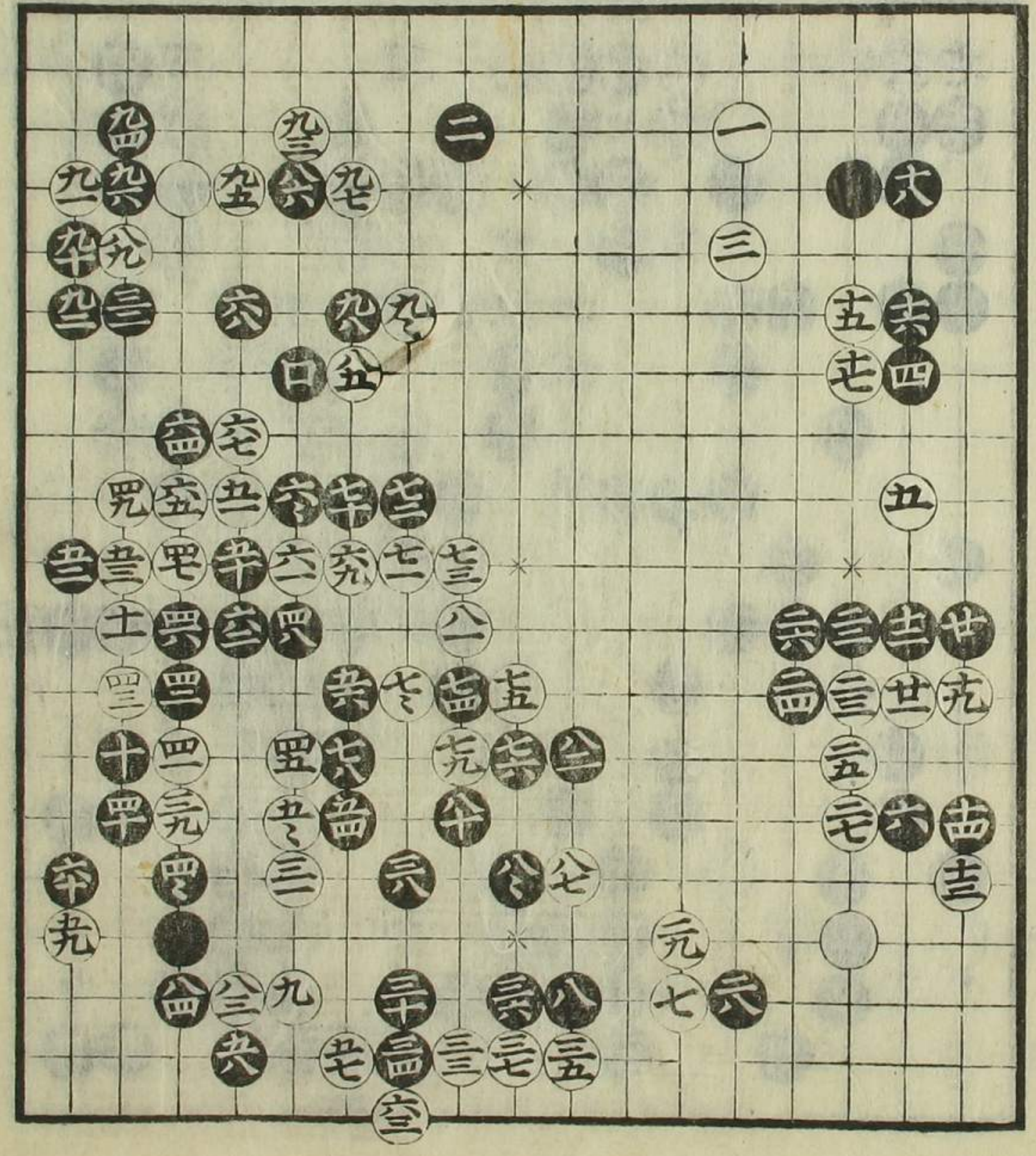


百手四手



張呂陳
黃月天
勝

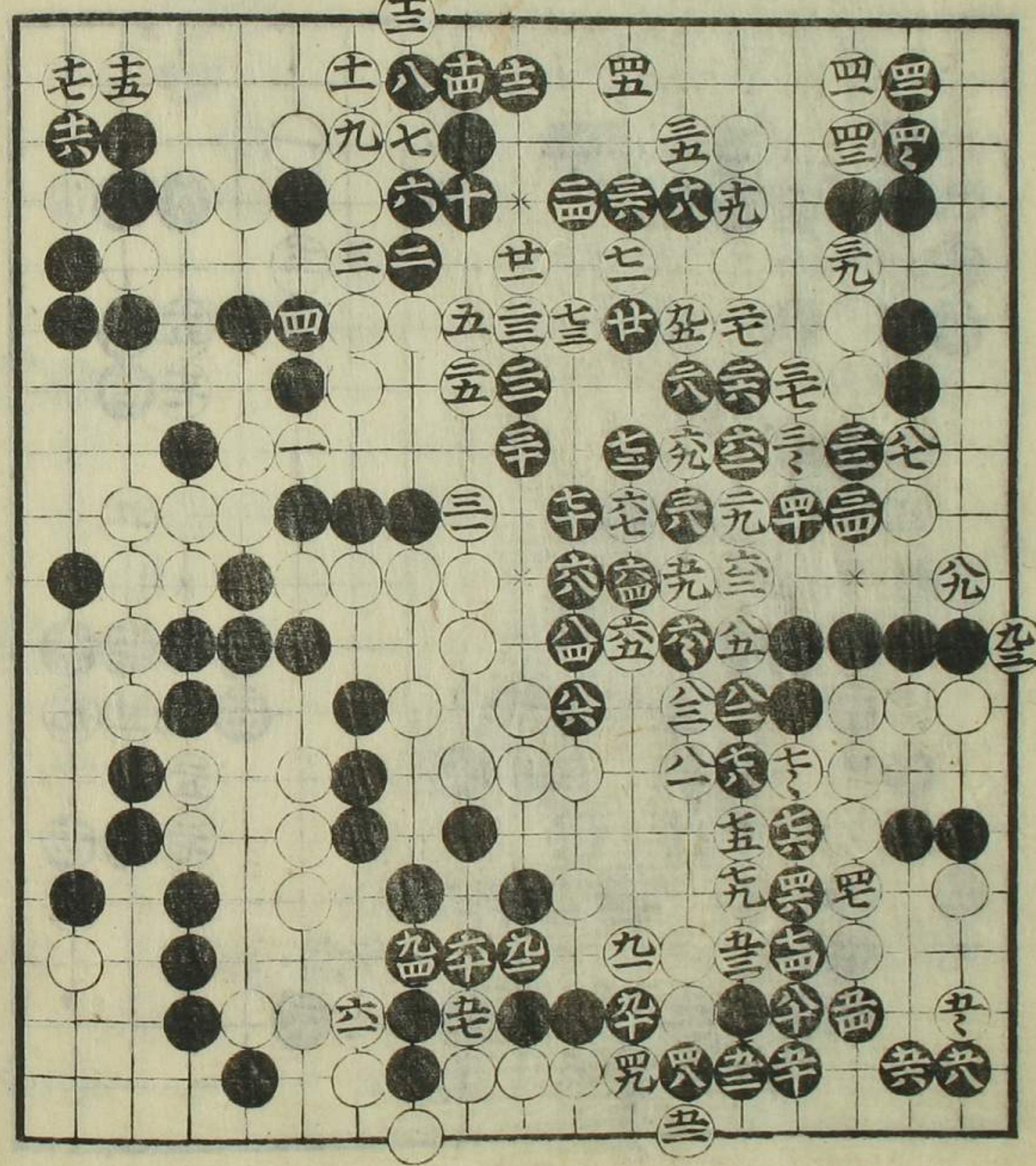
張曩暴風
寸とゆの気骨
何れ各自手
遊あり



八二目九

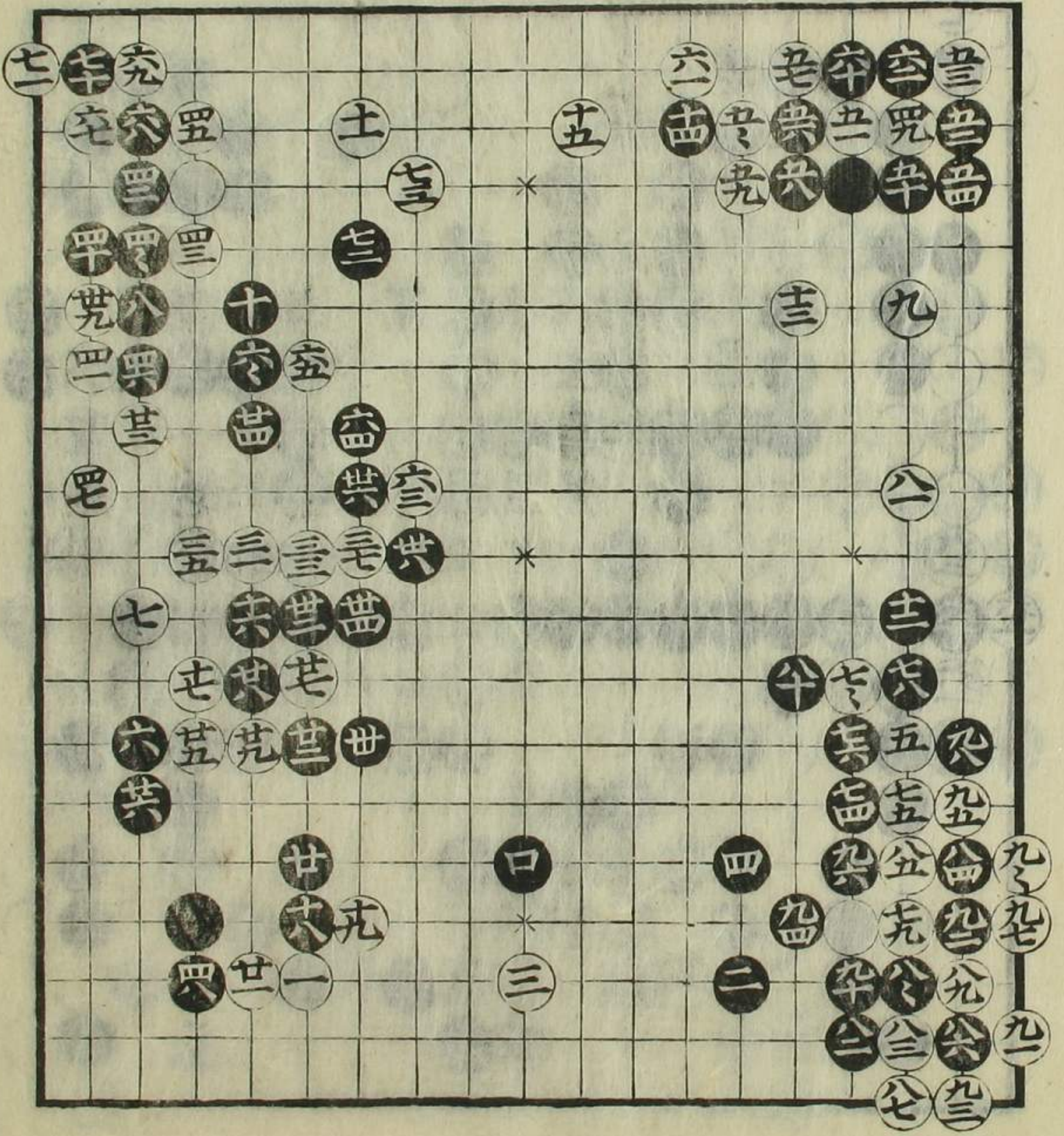
此碁黃月天
勝と記しれ
とも余恐らく
張呂陳勝る
了

百九十九手

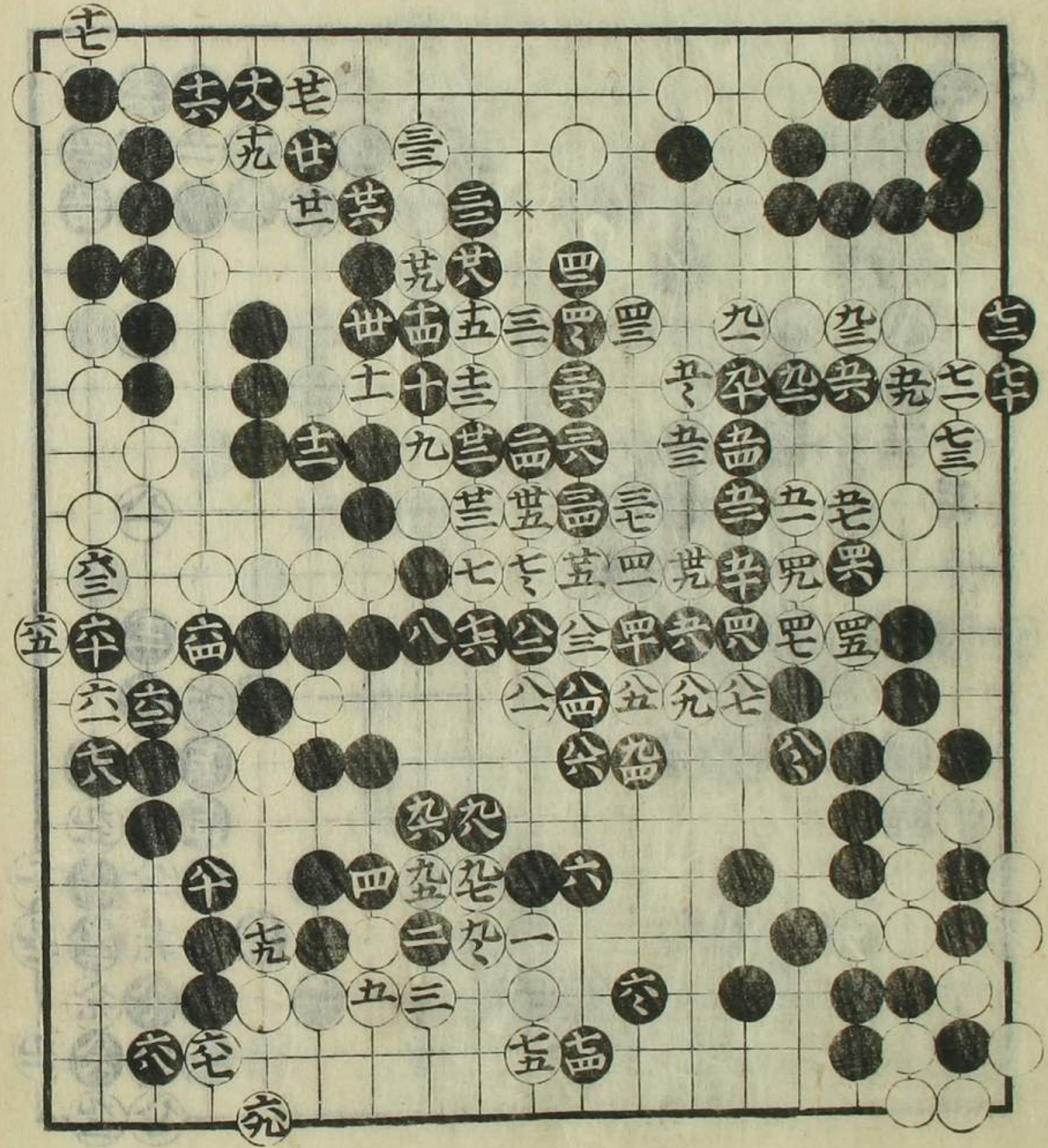


婁子恒
黃月天
勝

十六の手より
四八の手まで彼
方の定石と思
つる范西屏の
挑花泉と云棋
譜に其変化と
記せり大概理
を盡しきり
今茲に更せり

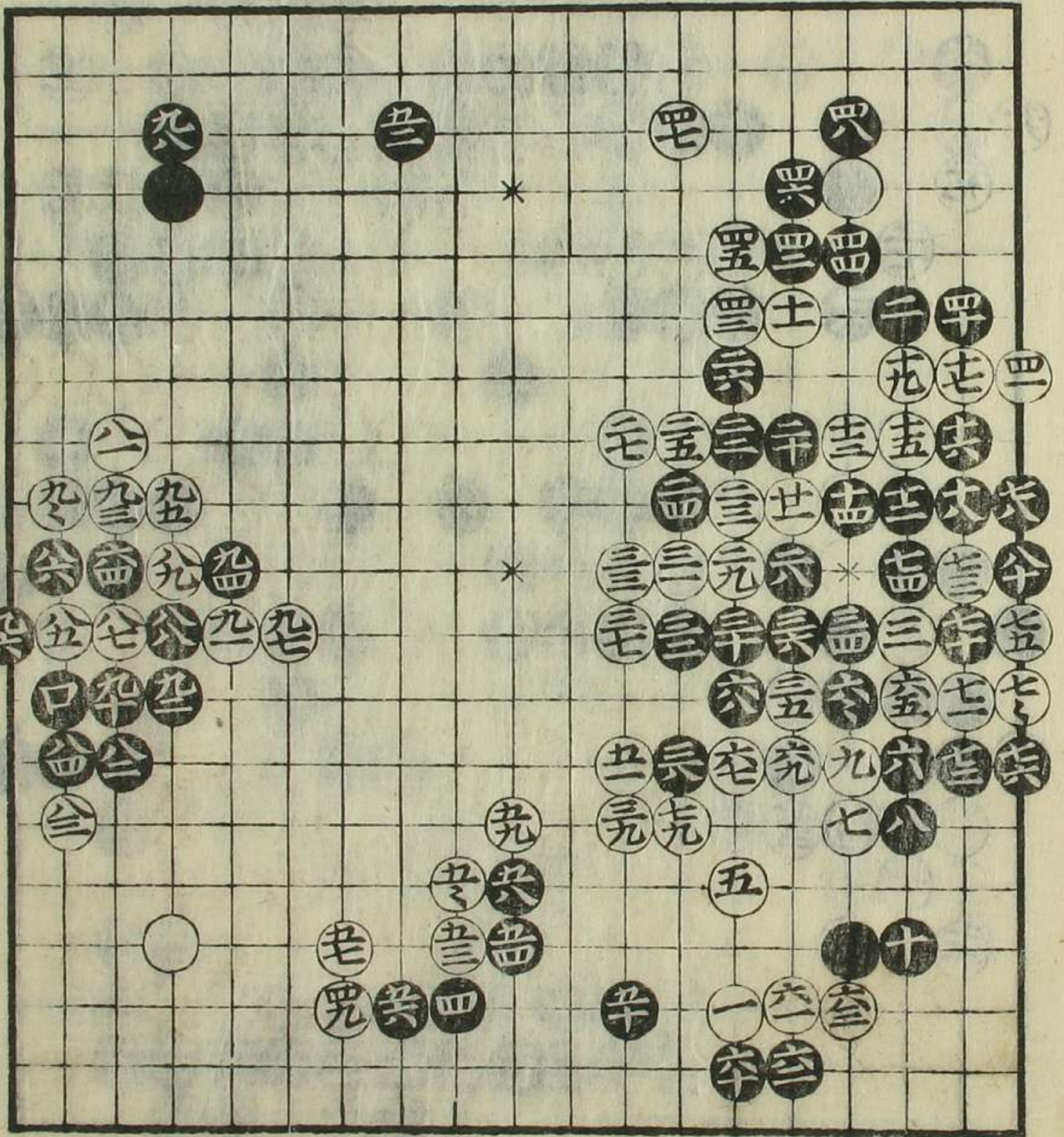


百九十九手



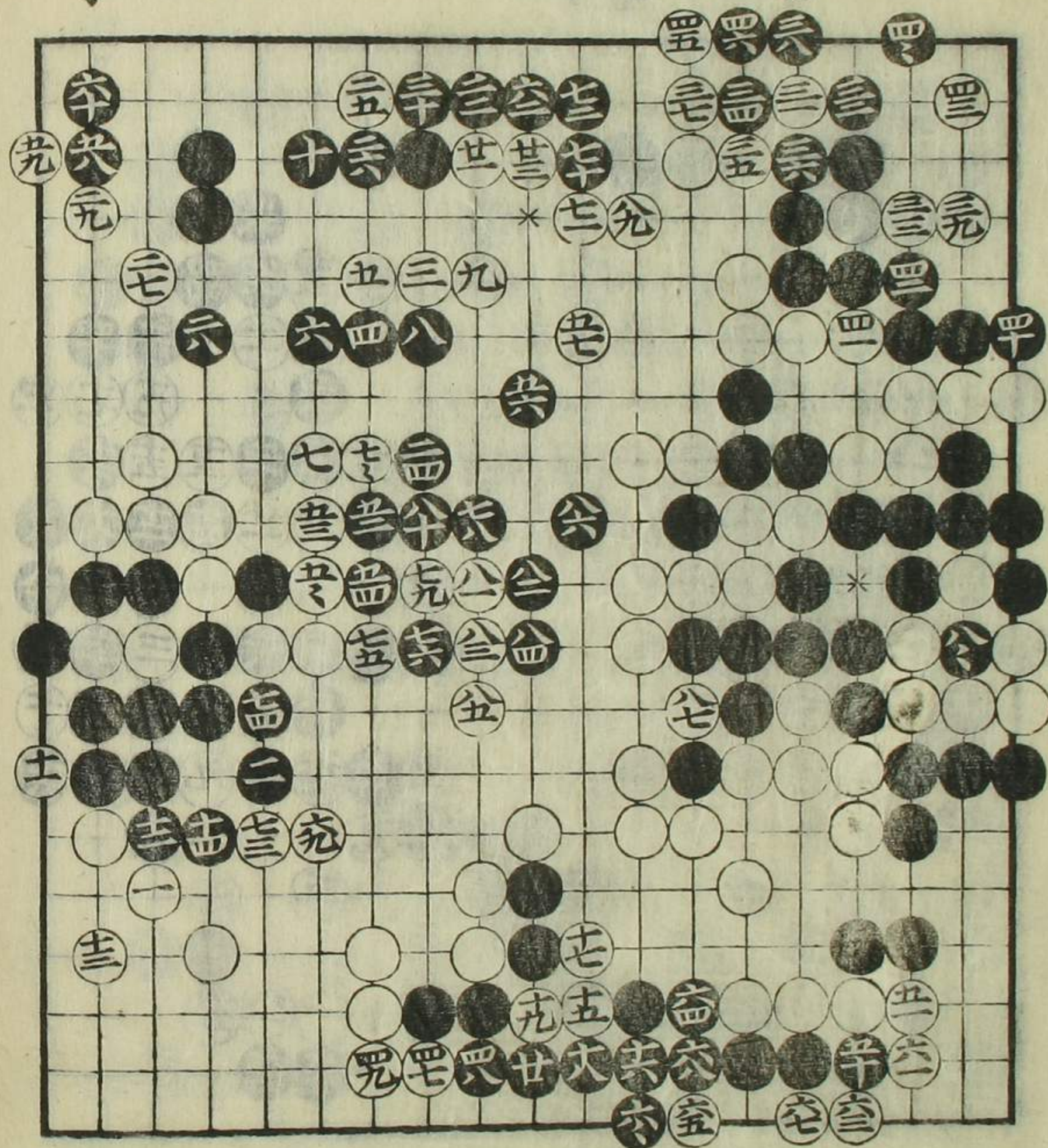
黄月天勝
江天遠

黄月天敵
よりて手法を
変は



三三九七六の
手共ニ誤ホ
ル

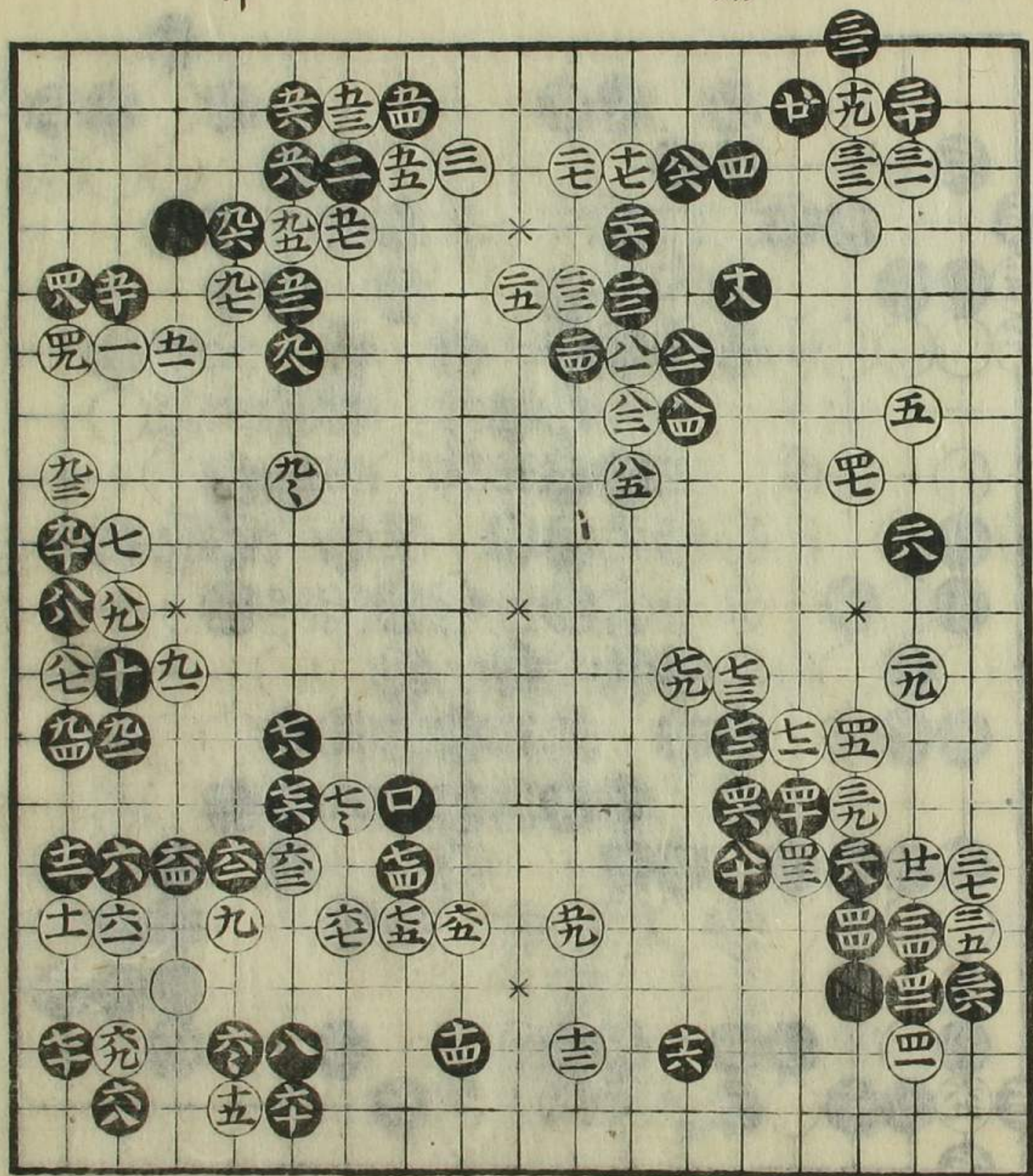
百八十九手



何翰公

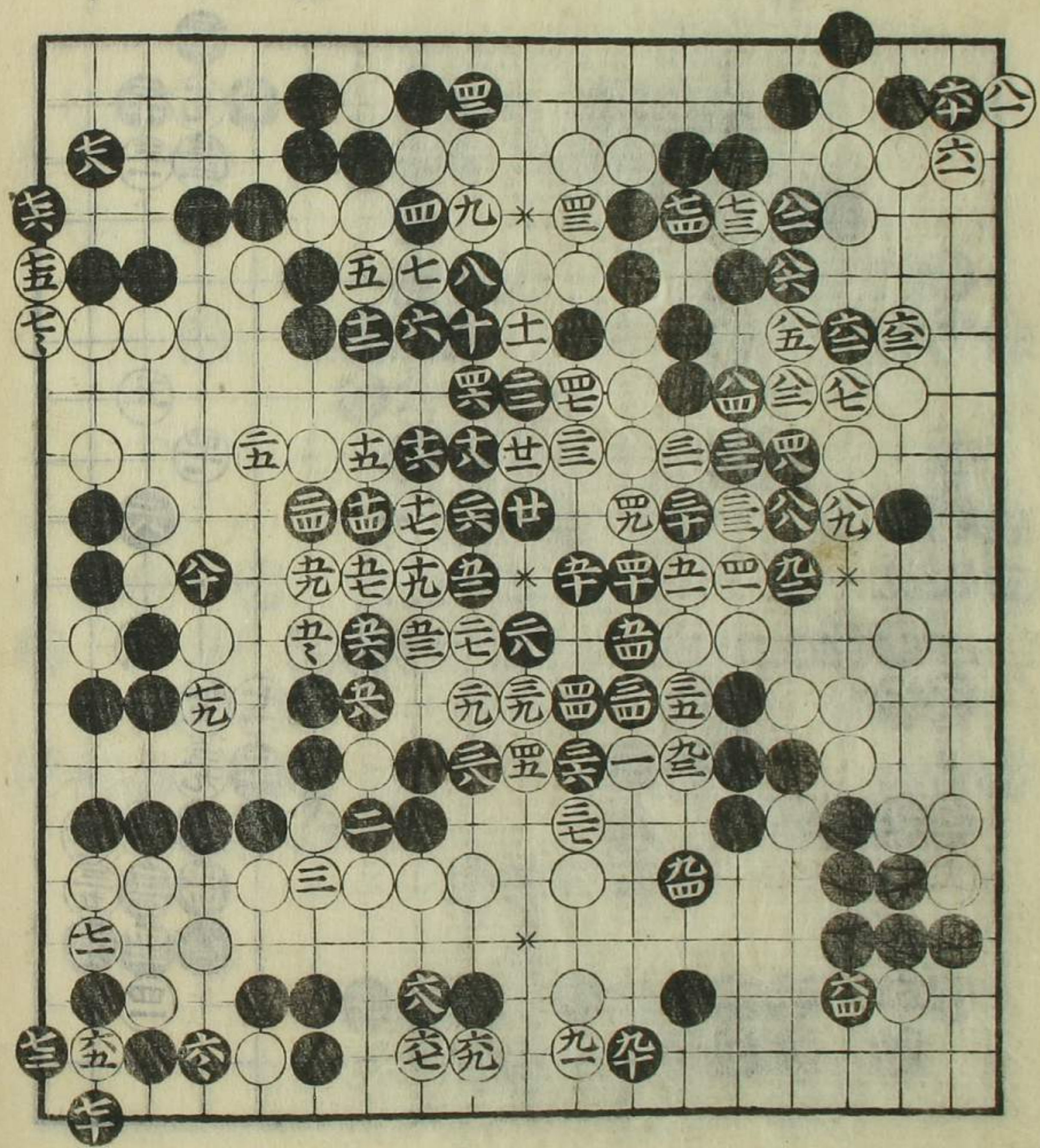
黄月天
勝

精妙入神
原評



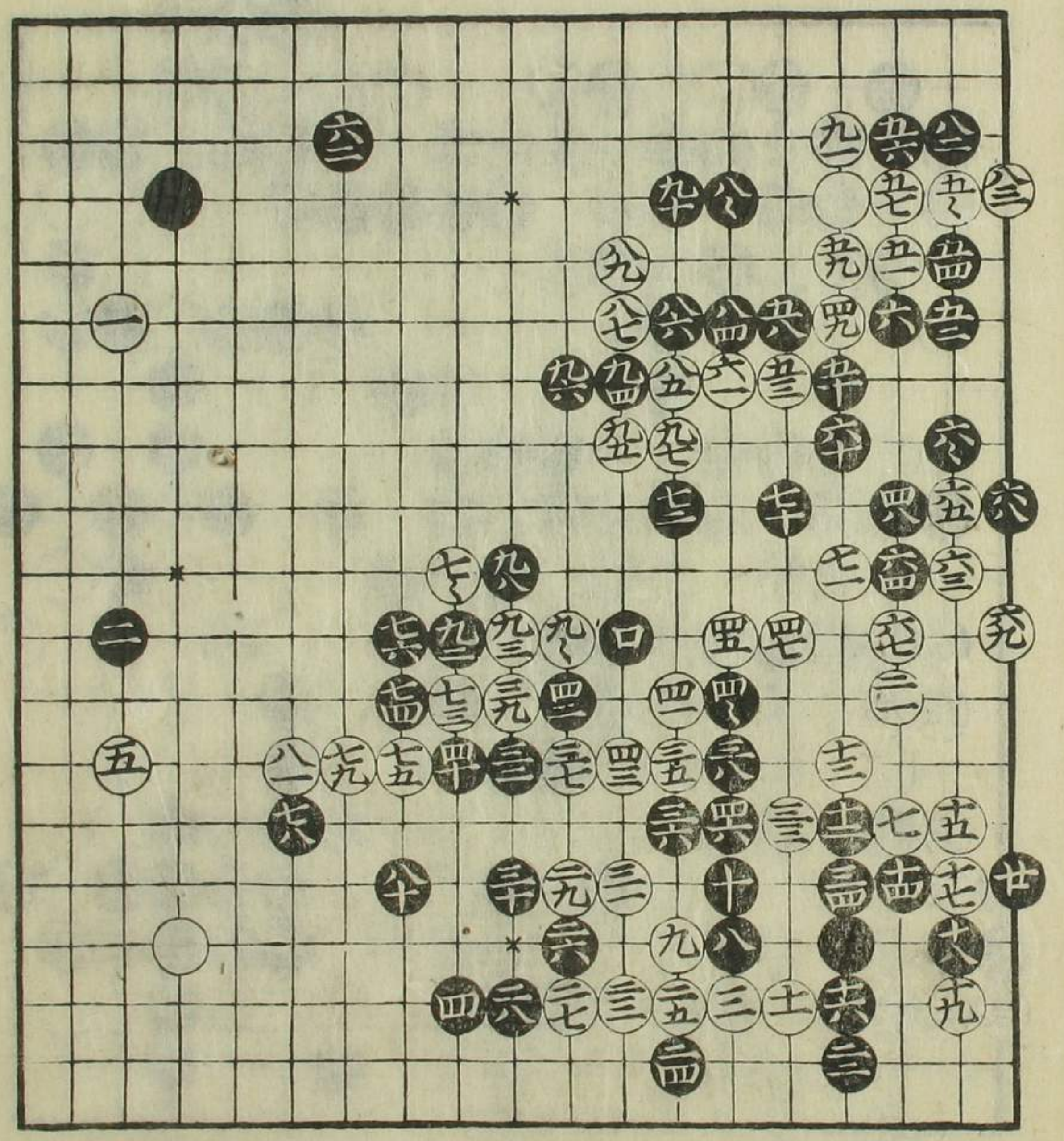
十三手

百九十四手



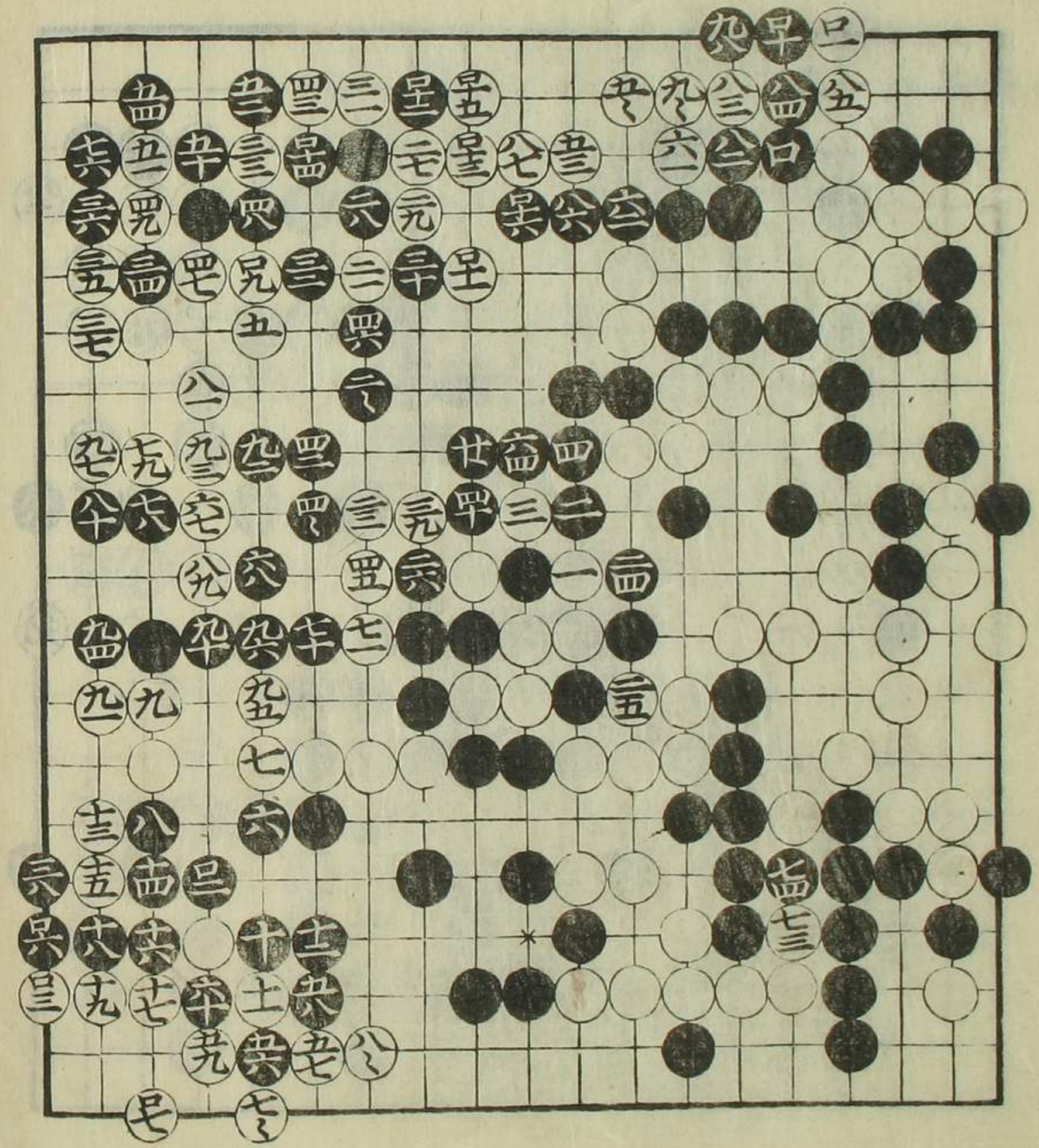
范西屏
梁魏今
勝

六のち報り
四の手と段



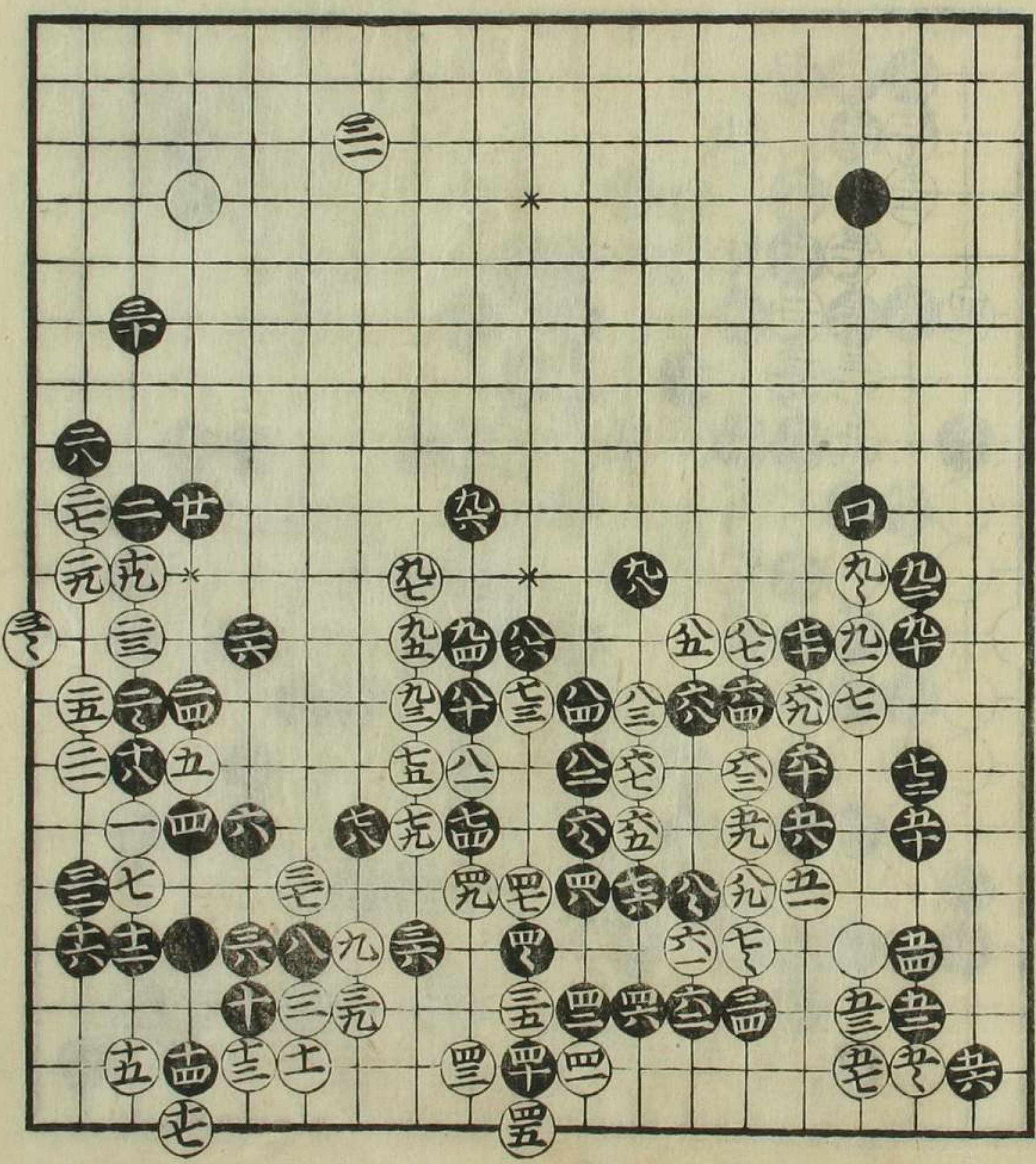
四一粘
六三却提
六五粘
六六却
六九全
七二全
七五全
口提
五粘
只目
兄又

二百十六手

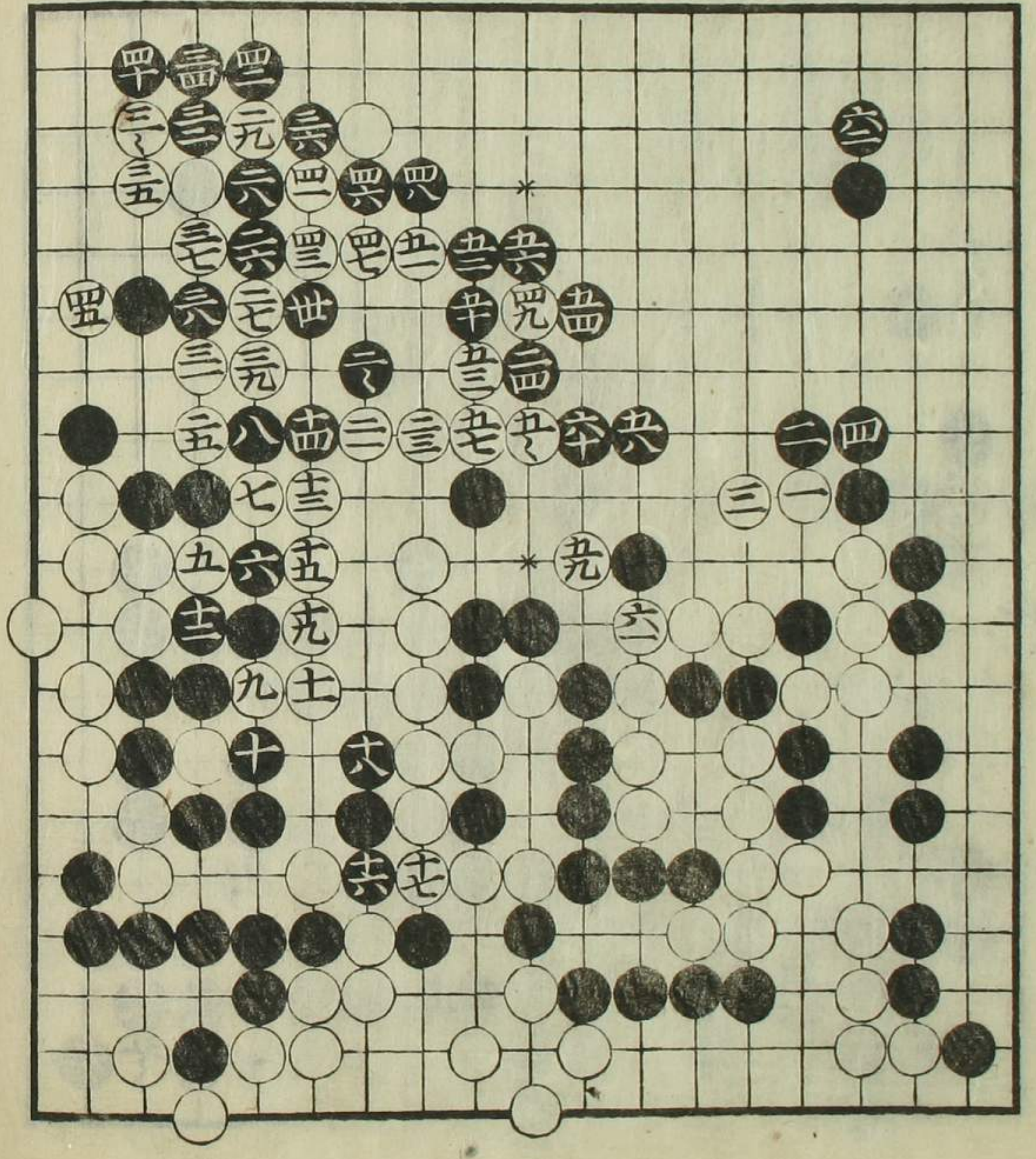


梁魏今
范西屏
勝

甲のよきあり

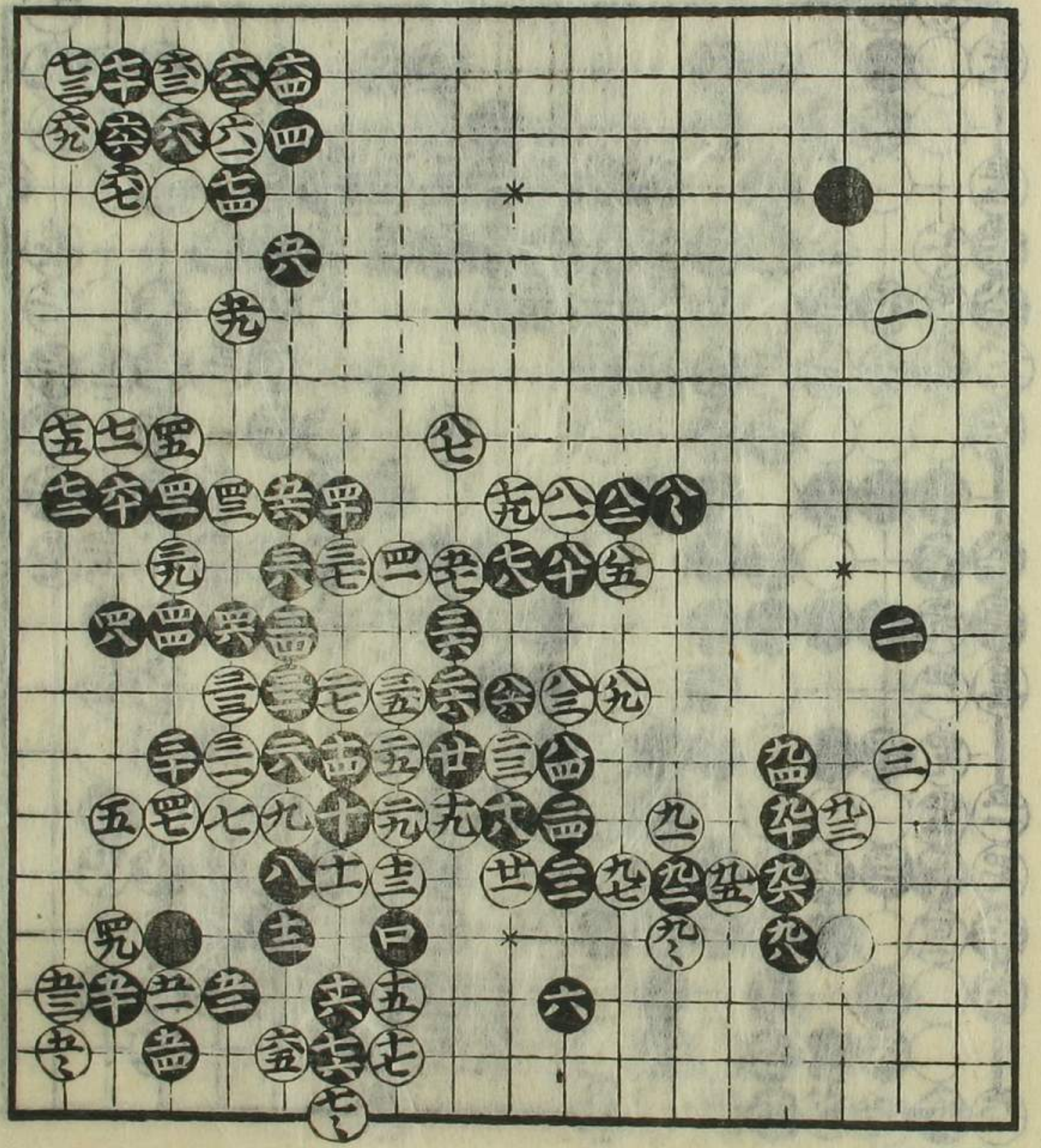


百六十二手



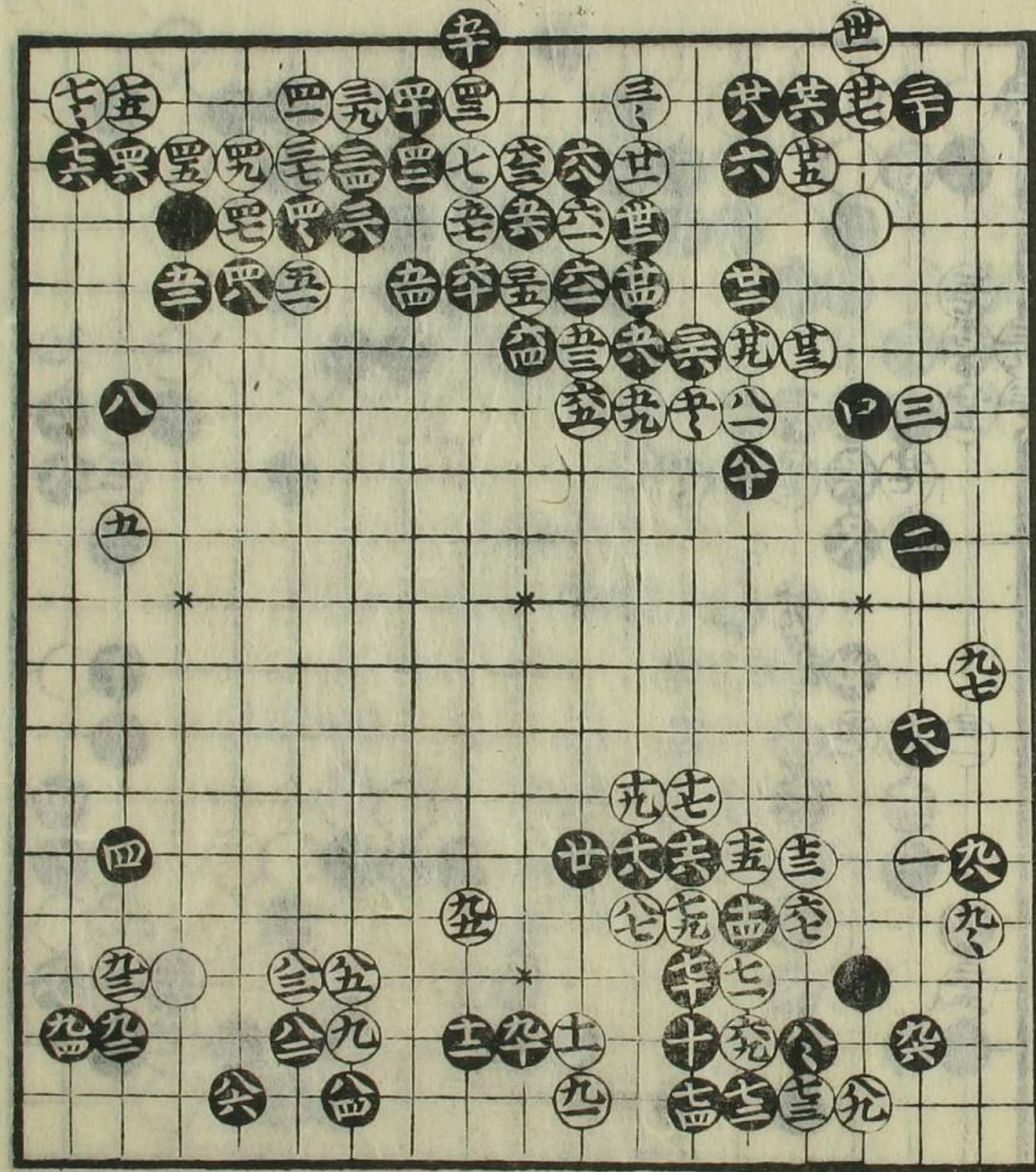
施襄夏 范西屏 勝

范西屏者康熙中之棋者也 桃苑泉之云棋譜を著述す



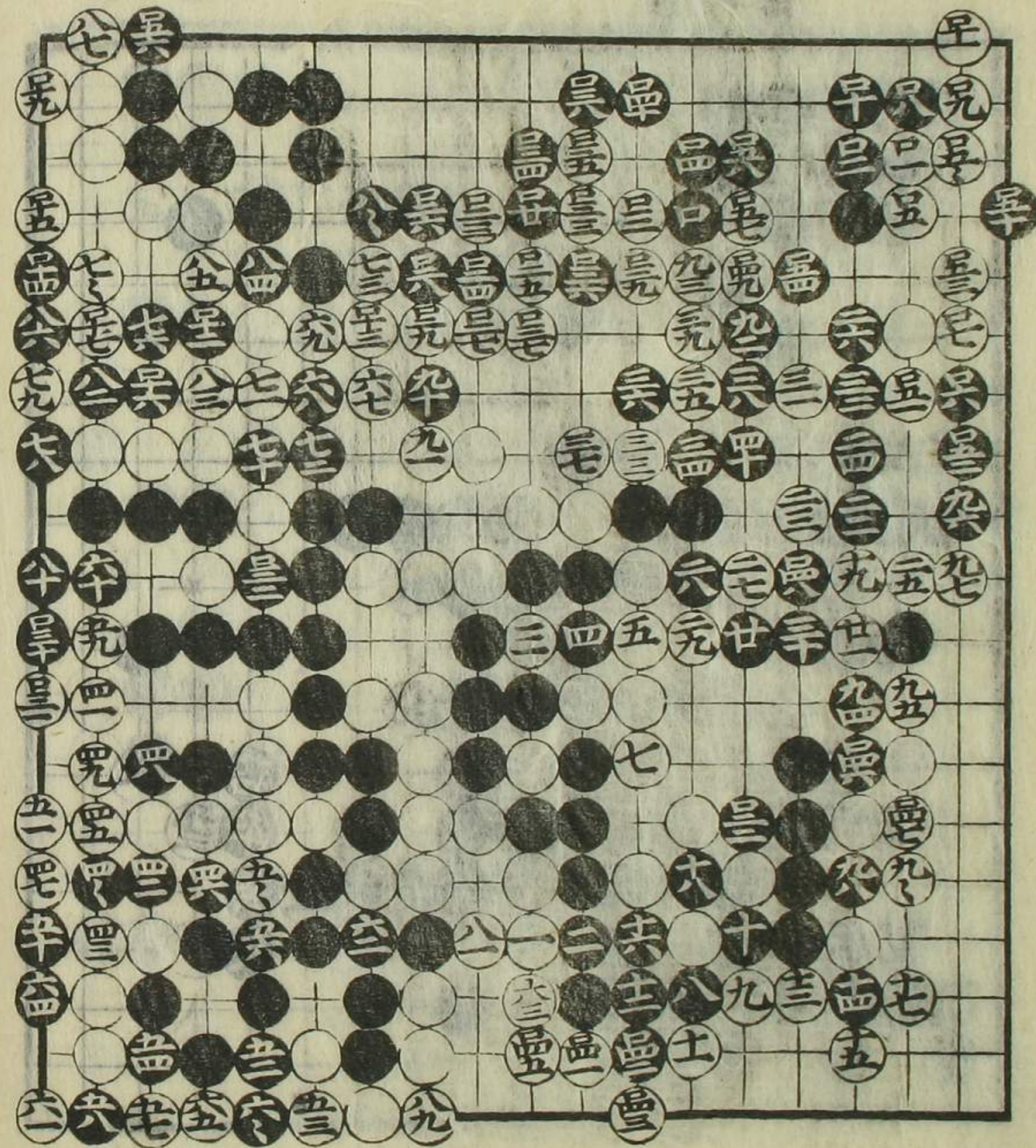
六子却提

程蘭如
施襄夏
勝夏

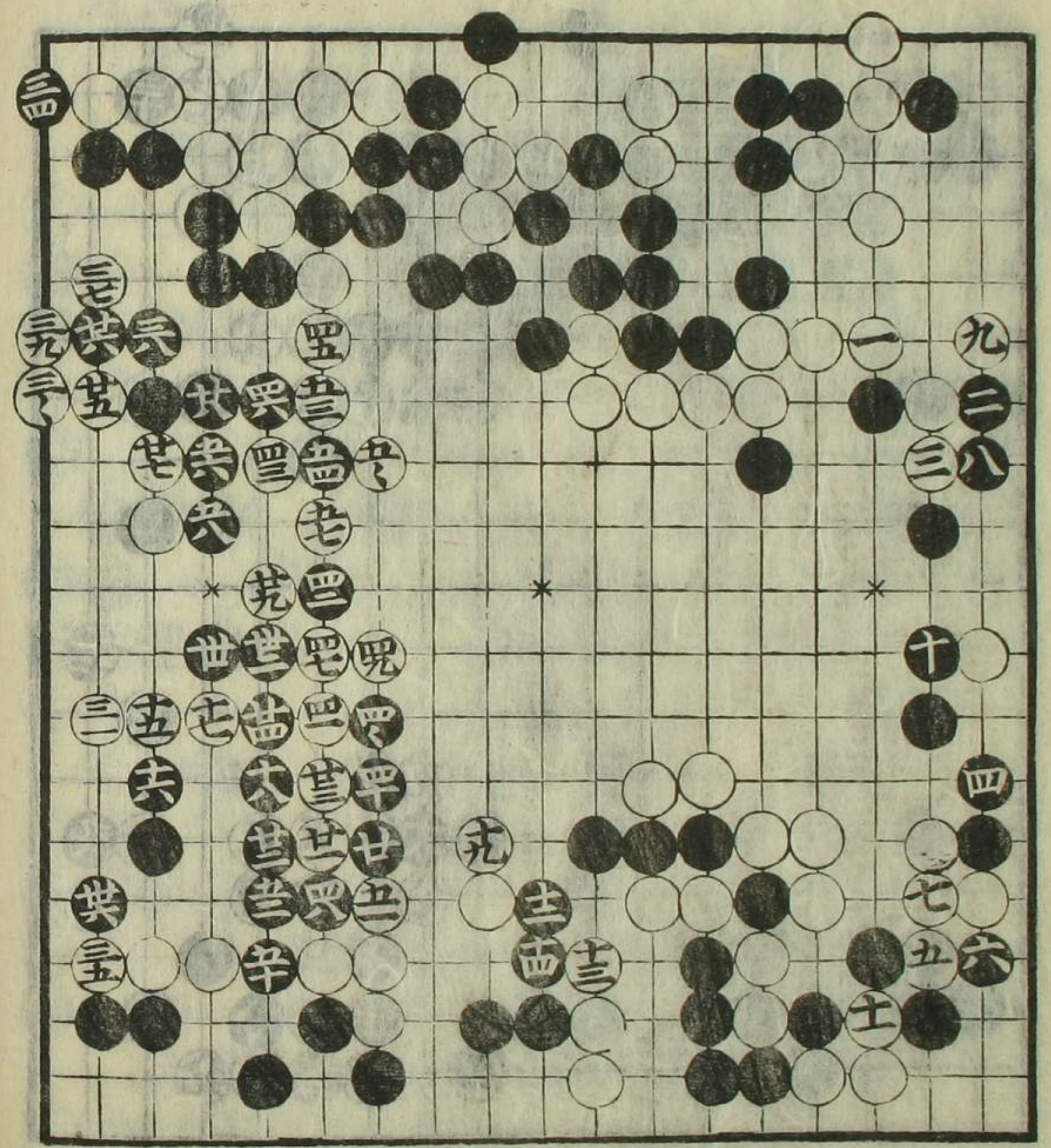


六粘
七四目提
七五全
八
九
十
十一

二百五十年

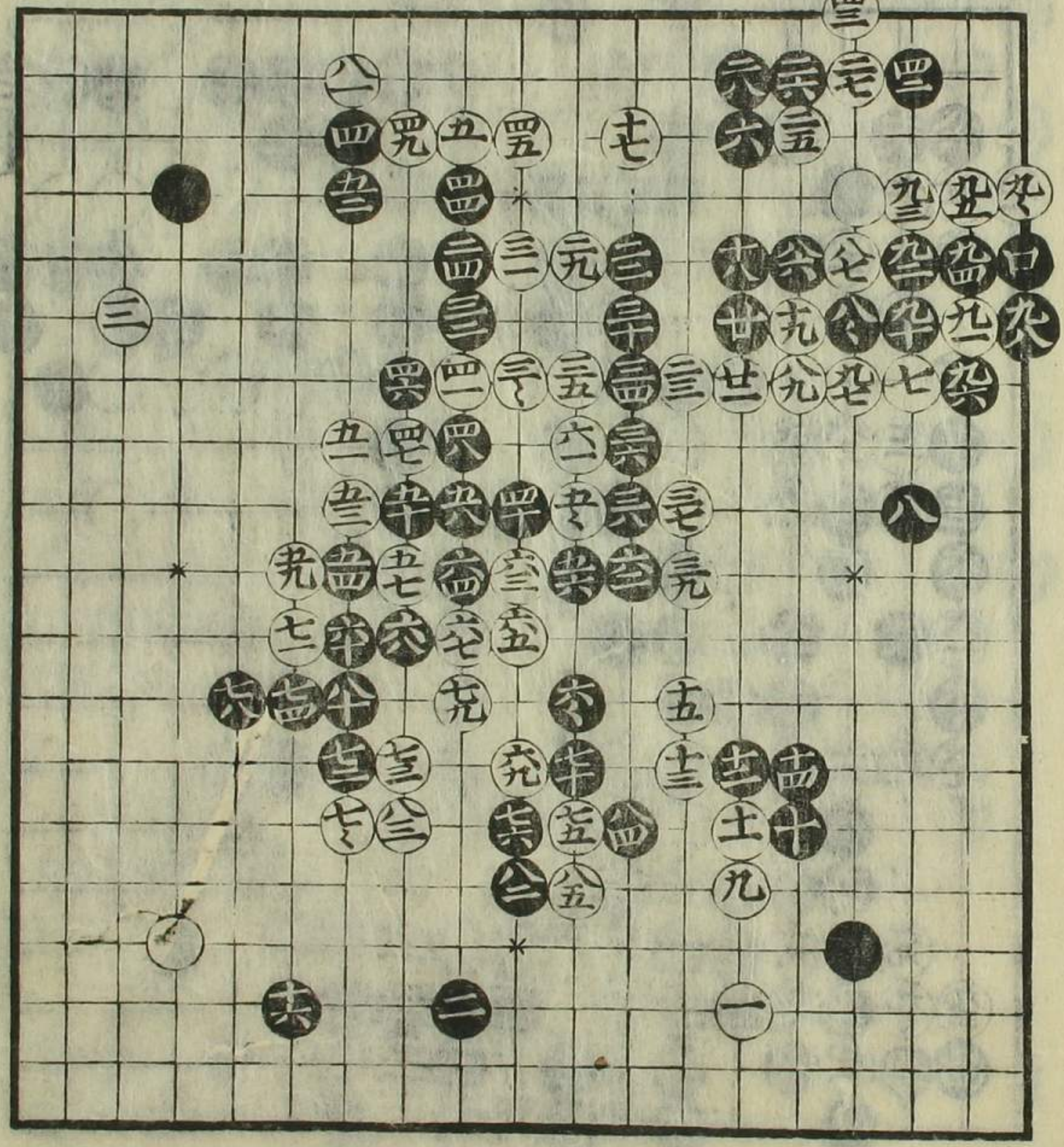


百五十八手

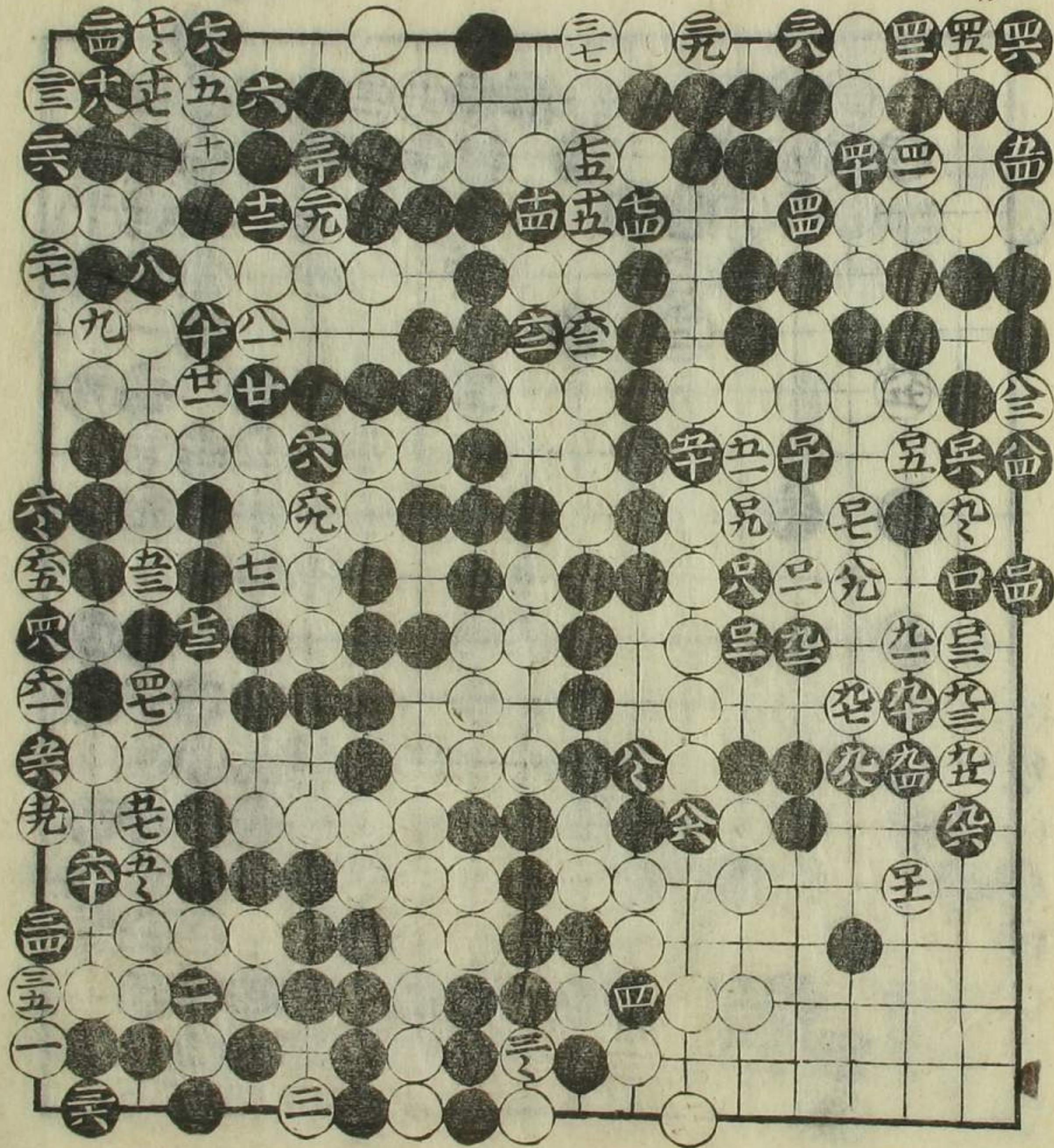


施襄夏勝
程蘭如

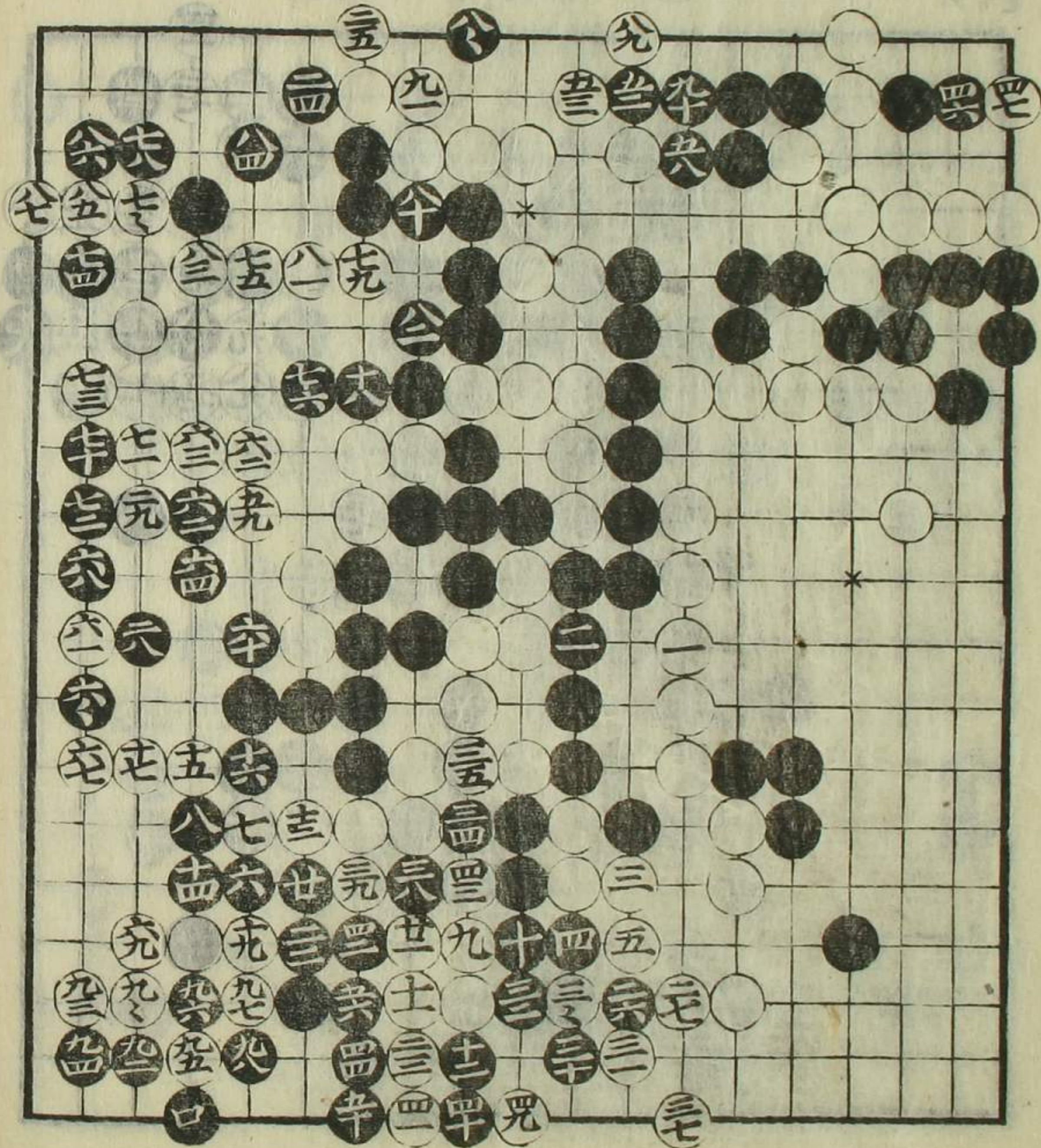
黃月天徐星友
清朝之逸業
の国手と稱ひ
余謂月天等も
ありし星友此
書に載す所を
と観るに及す
幸し施襄夏
者其右の如し
星友月天二三
置し其も同
書中にあり六
歳の時一七後
稍進志するも



七却九七却九
 十、六、
 十一、七、
 十二、八、
 十三、九、
 十四、八、
 十五、七、
 十六、六、
 十七、五、
 十八、四、
 十九、三、
 二十、二、
 二十一、一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、

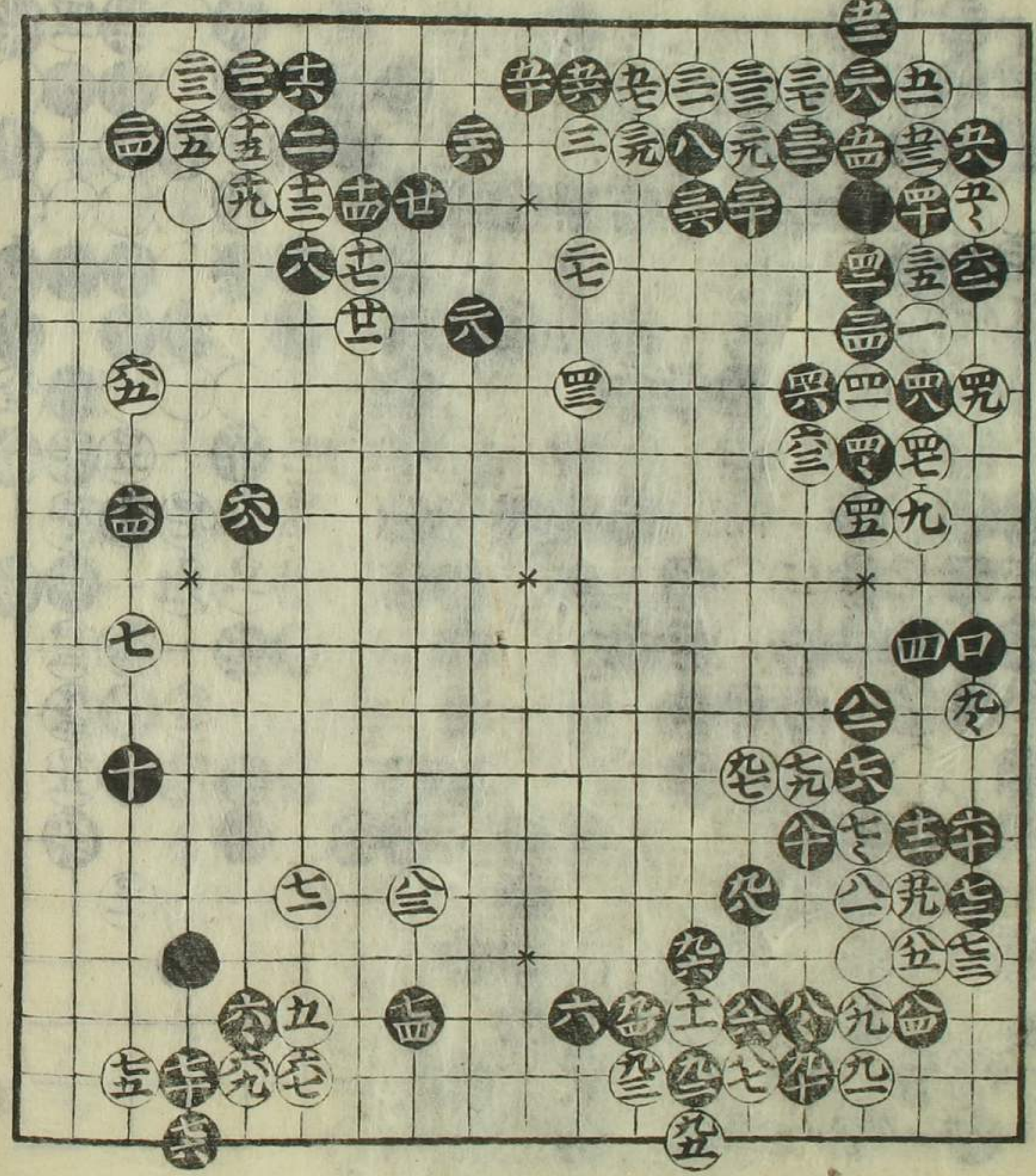


三六却トル
 四五
 四八
 五一
 五四
 五七



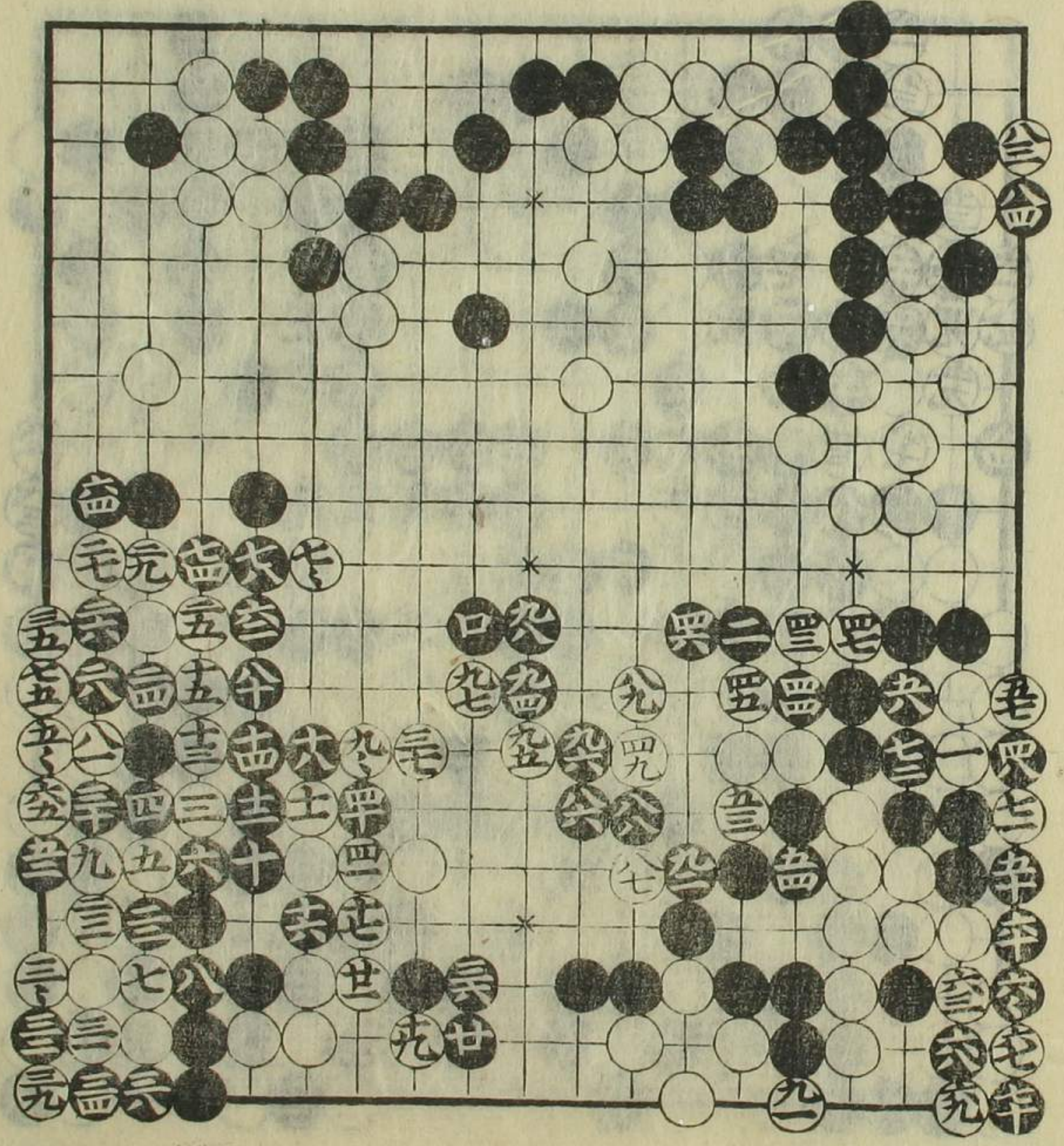
范西屏
施襄夏
勝夏

六却提



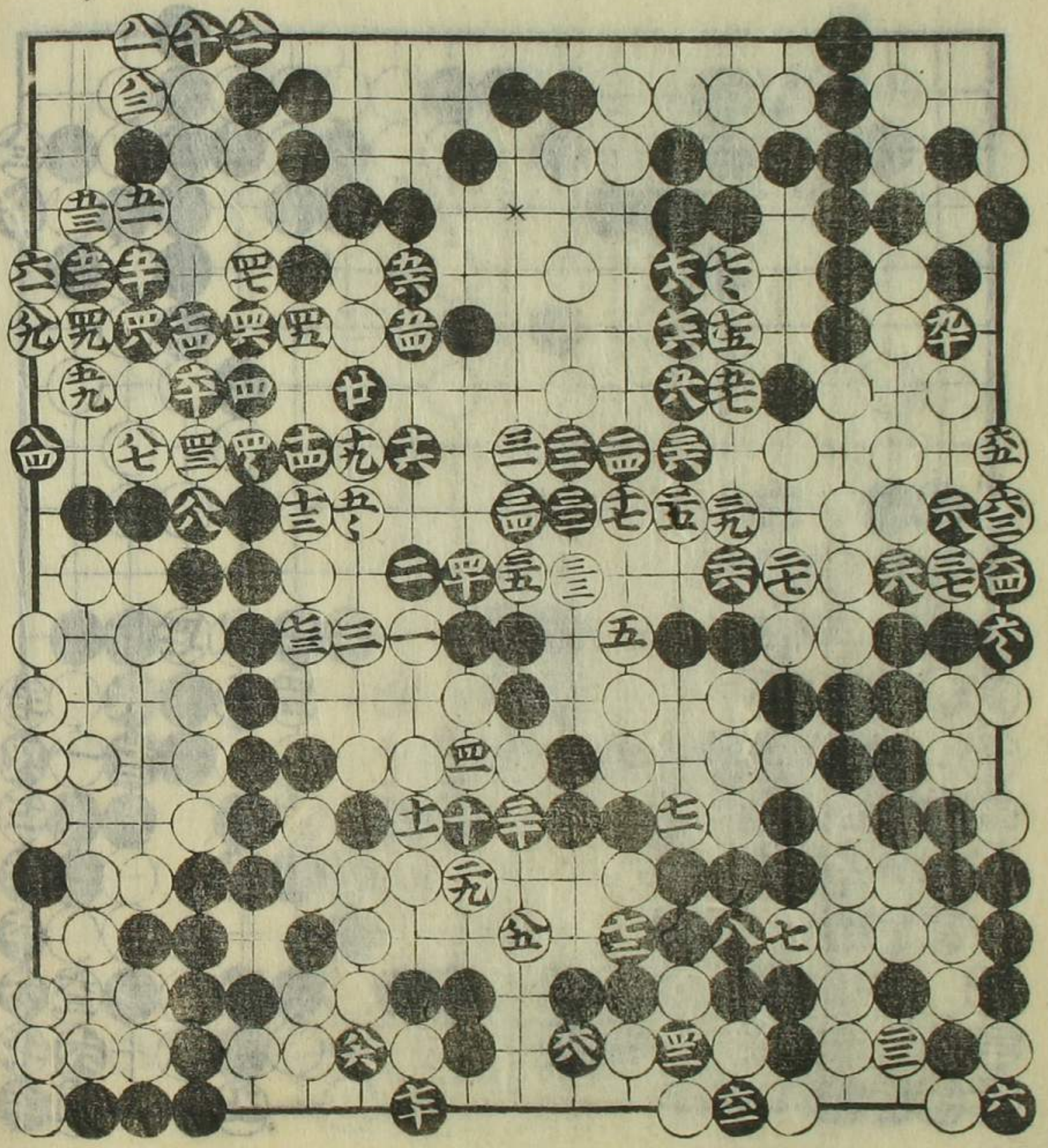
四却提
五一、
五九、
六一拈
七三却提
七六、
七九、
八二、
八五、
九十、
九三、

十の才好

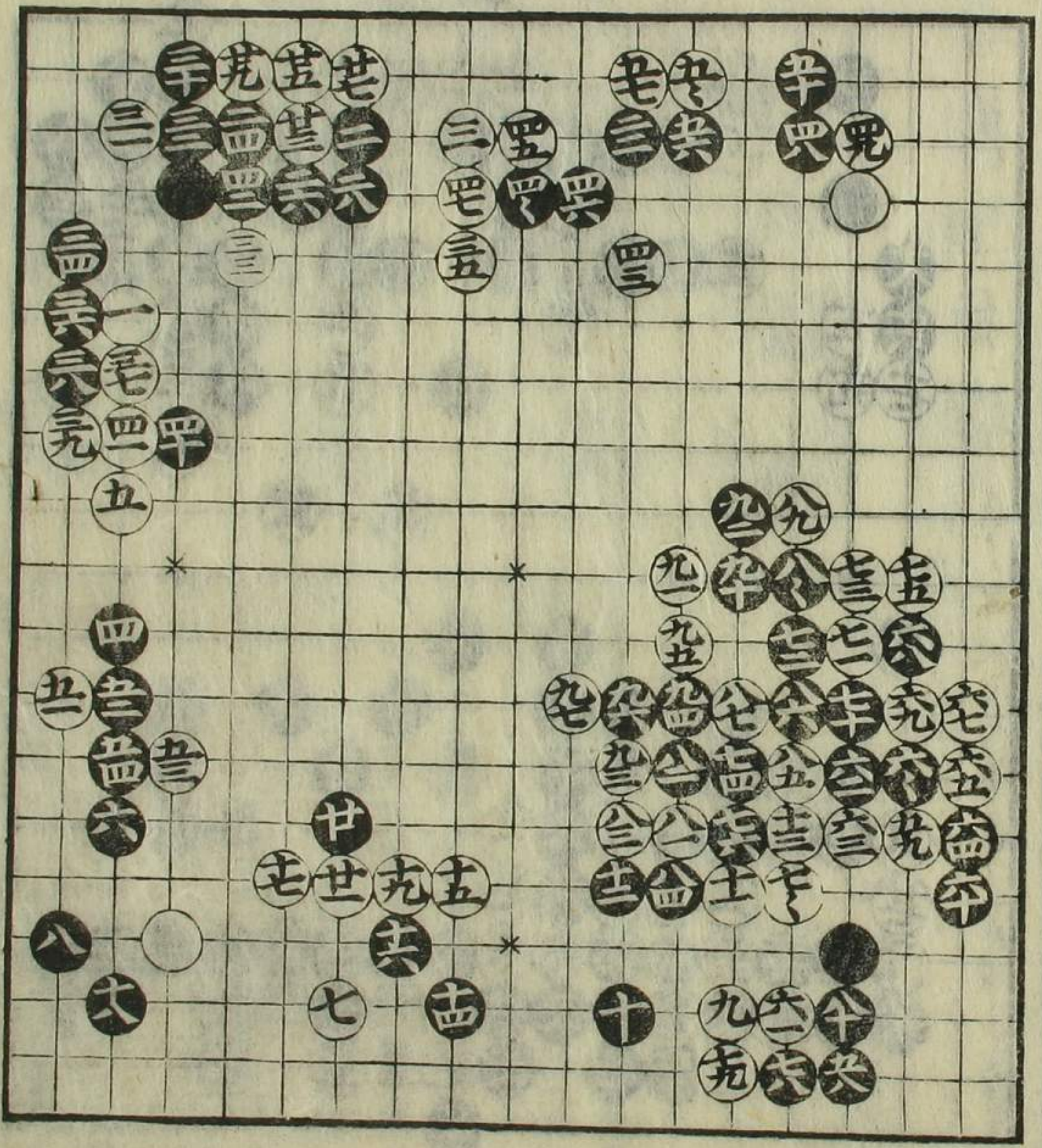


九劫提
十一、
十五、
十八、
廿一、
六六、
六九、
七九劫

二百九十手



烏有子
安處生



爛柯堂元美先生選
碁經衆妙 全部四冊

古今 碁經玉ふむ記 全部四冊

當流碁經類聚 全部三冊

碁經拾遺 全部三冊

續撰碁經 全部三冊

上巻は碁の傳記なりと云ふも其妙なるは碁の妙なるに
おの生れ死初攻盤邊遊藝條断碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに

碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに

碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに

碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに

碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに
碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに碁の妙なるに

本因坊元丈先生著
古碁樞機 全部四冊

井上因碩先生著
竹敲間寄 全部二冊

服部因徹先生著
温故知新碁錄 全部二冊

畠中哲齋先生著
名家世棋鑑 全部四冊

服部立徹先生著
奕圖 全部四冊

此碁の元社本因坊碁仙先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より
一五世道綱先生より一五世道綱先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より

此碁の昔昔名人因碩先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より
一五世道綱先生より一五世道綱先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より

此碁の昔昔名人因碩先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より
一五世道綱先生より一五世道綱先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より

此碁の昔昔名人因碩先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より
一五世道綱先生より一五世道綱先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より

此碁の昔昔名人因碩先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より
一五世道綱先生より一五世道綱先生より一五世道綱
先生より一五世道綱先生より一五世道綱先生より

服部因淑先生著

石立 稽古 置碁自在

全部 拾冊

上帙四冊 二百四番 下帙六冊 二百番
右合初と南正好抄上上巻と下巻とを合す

安井仙知先生著

河洛餘數

全部 四冊

畠中哲齋先生著

對勢碁鏡

全部 四冊

林元美先生著

碁經精妙

全部 四冊

唐上清人の打碁を合刻す

三大家先生著

碁立手引集 圍碁秘訣

全部 三冊

古今 碁經選粹

名人 碁經選粹

全部 四冊

本因坊丈和先生著

國技觀光

全部 四冊

鈴木知清先生著

對手百談

全部 四冊

これを古今碁乃書りといふも并因近
石立をりし後ありぬ之れ當派の引碁を在
初学の書ありまゝ書りしはよしの書集自
由乃打方百戦百勝の手段教養ハ碁術といふ
そこれに後奥義を法すべしといふは其の
之れを熟賢の著る上巻と下巻とを合す

此書碁家読先書を熟意取乃書りて遠く文政
三年とていふは其の百番の碁乃新書を引碁
出く碁精妙なる書時の碁勢或熟賢といふ
對子乃び碁術の要なるし有遠き一巻一
巻の約なりといふは名世碁經乃後編なり
四家の先生をとりて其の碁乃法をいふは碁
文政年間よりいふは碁乃法をいふは碁
碁を精選せられし法をいふは碁乃法

先板家如盛なりは碁乃法又身日碁乃法
此は碁乃法なりは碁乃法の隅の隅附し
碁乃法の中なりは碁乃法の中なりは碁
か乃碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法

名人古本因坊先生元祖安井先生乃定石
指南乃國式あり他は其のなり附録の
秘訣をいふは碁乃法をいふは碁乃法
先生十レリ衆教訓の碁乃法をいふは碁
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法

此の集書は碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法

高田孝一門人より碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法

此書碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法
碁乃法をいふは碁乃法の碁乃法

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 基, 立, 平, 下, 三, 大, 等.

天保六年乙未六月刻成

京都寺町通松原下町

勝村 治右衛門

發行書舖

大阪心齋橋北三丁目

秋田屋 太右衛門

江都淺草茅町三丁目

製本所 須原屋伊 八



全四冊并八八〇

